

仮設住宅図書

外部仕上表

屋根	カラー鋼板タテハゼ葺き(生地色)+アスファルトルーフィング910 + 針葉樹合板 厚12 勾配3/10、樋・丸樋(120、堅樋φ75)全軒通り 堅樋(5箇所)排水口 マス300角 砕石トレンチで放流
軒天	垂木現し 面戸板(垂木同材)
外壁	防火サイディング 塗装品または現場塗装 タテ張り(アイボリー系) + 透湿防水シート 水切り、防湿水地・シルバー色 14mm 直釘打(同質)モエサ行ガ+H14 シト-オール調(3尺) WEX2014(ムンMG+ジェ色)
サッシ	アルミサッシ(ブラチナステン色) ベアガラス 網戸付(玄関ドアを除く)居室側:トーマイガラス、エアプレス付 玄関側:型板ガラス 玄関ドア:ポスト付 YKK C71 D4仕様 W7 ハニ-チェル(原色) プラチナステ(特色) ツ-ロウ仕様(工事用キ-無し) 専用戸当
防火扉壁	石膏ボード 厚12.5 × 2枚張り × 2(面側) + クロス 住宅用グラスウール10k 厚100 充填
断熱材	壁、天井: 住宅用グラスウール10k 厚100 床根太間: 押出法ポリスチレンフォーム3種 厚50 外周廻り 基礎通目ハッキン 20厚 その他 銅製束
土台下	
玄関ポーチ (洗濯置き場下)	目隠し壁(木製) デッキ、杉30×105目透し 束、羽子板付(ロングト製) 東石 4個 底辺190角 上辺120角 高さ180 踏段、蹴上 200以下
ねれ縁	1,800×700 (杉材)カベ固定なし、無塗装 物干し金物
防湿・防蟻	特記無き限り防湿防蟻対策としての木材薬剤処理は、無しを標準とするが、加圧注入剤の使用も認める

構造部材概要

部材	寸法	材種	備考
土台	105 × 105	杉	
大引	90 × 90	杉	
根太	45 × 60	杉	@303
柱(外周)	105 × 105	杉	
柱(内部)	105 × 105	杉	
間柱(内部)	45 × 105	杉	
間柱(内部)	45 × 105	杉	
梁(見えがかり)	巾105	杉	構造材モルダ-掛けのまま
梁(見え隠れ)	巾105	杉	
母屋	90 × 90	杉	@910
火打(見えがかり)	90 × 90	杉	鋼製火でも可
垂木	45 × 60	杉	@335(板金寸法に合わせる)

※ 木材の部材断面寸法は、表記寸法を基準とするが、これより大きい木材断面寸法の使用も認める
※ 構造軸組材(土台、柱、梁、桁)における木材の含水率はB種(25%未満)とする

(板金寸法に合わせる)

内部仕上表

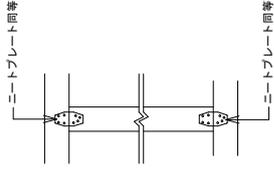
室名	部位	床	巾木	壁	天井	備考
玄関	仕上 CFシート 下地 針葉樹合板 厚24	木製巾木		クロス貼り 石膏ボード 厚12.5	クロス貼り 石膏ボード 厚9.5、防湿気密シート 厚0.15	ヨコ手すり L=600
ダイニング キッチン	仕上 県産杉板フローリング 無垢 厚15 中央木材 無垢縁甲1920×15×105 下地 針葉樹合板 厚12	木製巾木		クロス貼り 石膏ボード 厚12.5	クロス貼り 石膏ボード 厚9.5、防湿気密シート 厚0.15	流し台、吊戸棚、コンロ、換気フード
和室	仕上 タタミ敷き(熊本産)55 下地 針葉樹合板 厚24 ※合板端部、ジョイント部は気密化のため養生テープ貼りとす。	木製巾木		クロス貼り 石膏ボード 厚12.5	クロス貼り 石膏ボード 厚9.5、防湿気密シート 厚0.15	窓部カーテンレールW(カーテン) 間仕切部アコーディオンカーテン
洋室	仕上 カラーフロア 厚12 下地 針葉樹合板 厚12	木製巾木		クロス貼り 石膏ボード 厚12.5	クロス貼り 石膏ボード 厚9.5、防湿気密シート 厚0.15	(AC)1台 他スリブキャップ 枕棚、中段(既製品)
押入	仕上 カラーフロア 厚12 下地 針葉樹合板 厚12	雑巾ずり		クロス貼り 石膏ボード 厚12.5	クロス貼り 石膏ボード 厚9.5、防湿気密シート 厚0.15	
トイレ	仕上 カラーフロア 厚12 下地 針葉樹合板 厚12	木製巾木		クロス貼り 石膏ボード 厚12.5	クロス貼り 石膏ボード 厚9.5、防湿気密シート 厚0.15	ヨコ手すり、棚 タオルリング、ペ-パー TOTO便器:CS670(ホワイト色)普通便座
脱衣	仕上 県産杉板フローリング 無垢 厚15 中央木材 無垢縁甲1920×15×105 下地 針葉樹合板 厚12	木製巾木		クロス貼り 石膏ボード 厚12.5	クロス貼り 石膏ボード 厚9.5、防湿気密シート 厚0.15	タテ手すり 間仕切部 一部カーテン 他アコーディオンカーテン
浴室	仕上 メーカー仕様による 下地 床に据え置きタイプのユニットバスとするため、浴室出入口に段差(180mm程度)が生じます。			L型手摺400×600(跨ぎ)	石膏ボード 厚9.5、防湿気密シート 厚0.15	サイズ1116(追い焚き機能付) 洗面一体型、力ガミ
備考				石膏ボードの上端は梁までのばす。		アンテナ20素子(脚長1.8M)、棟 1基にて分 配

エアコン

1DK	30A	エアコン2.2kw
2DK	40A	エアコン2.2kw
3DK	40A	エアコン2.8kw

※専用コンセントAC
※取り付け外室スリーブ設置

工事名	「熊本県優良住宅仕様」仮設住宅	図面 No.	
図面 No.	熊本市新屋敷一丁目14番29号	SCALE	
図面名	仕上表	2016.05.30	



柱・梁・土台 継手



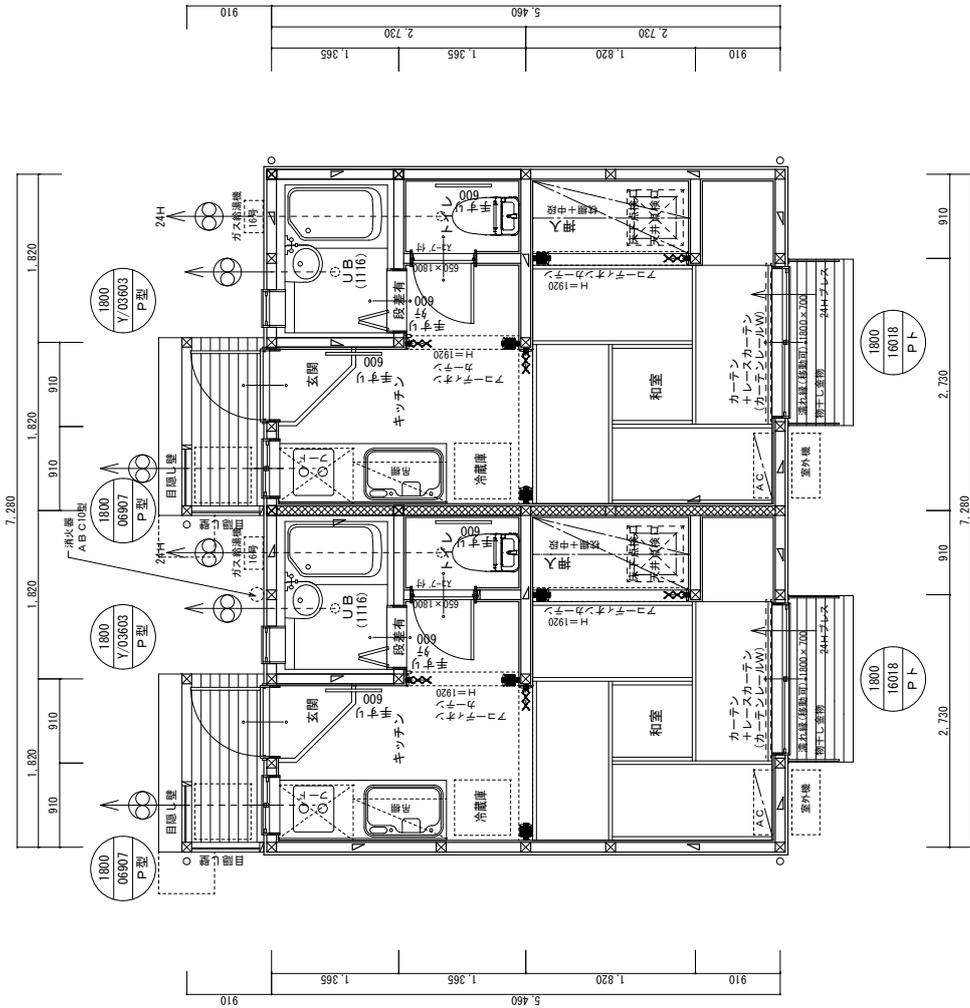
窓の種類
 ・H=引違窓 ・U=上げ下げ窓 ・T=縦すべり窓
 ・Y=横すべり窓 ・AN=オニング窓 ・F=FI窓

ガラスの種類
 ・ト=透明複層ガラス ・型=型紙複層ガラス
 ・強=強化ガラス ・S=セリガラス
 ・網=網入りガラス ・線=線入りガラス

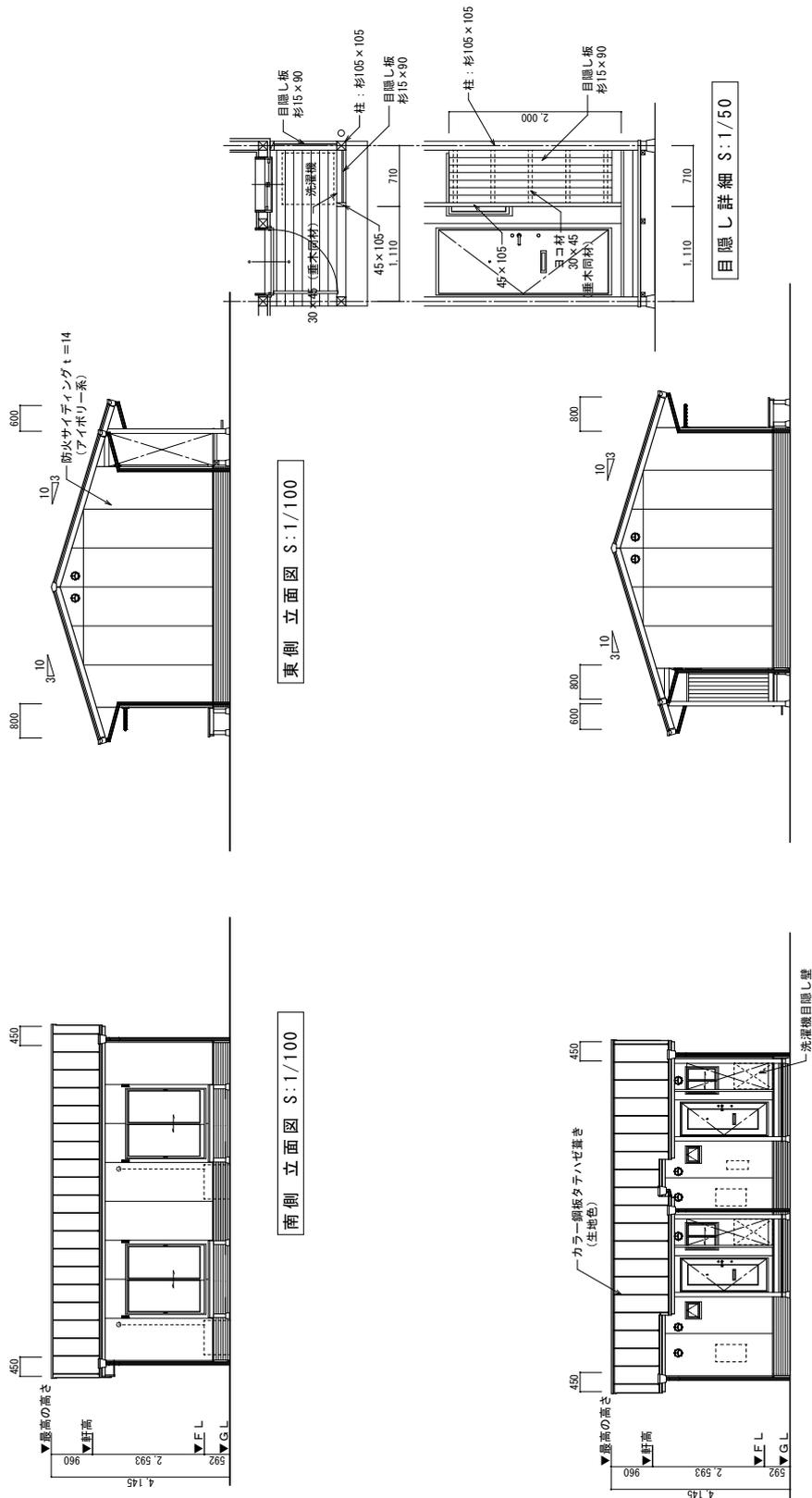
付属部品
 ・A=雨戸 ・S=シャッター雨戸
 ・AK=アルミ格子 ・WK=木格子

構造記号
 △ - 筋かい(S)105×45を示す
 ▽ - 筋かいの向き 上部 ▽ 下部
 ⊠ - 筋かい(W)105×45を示す
 ▽ - モイス(縦線混入ケイ酸カルシウム板)を示す

面積表 (m ²)	
1 K	19.87 m ²
延面積	39.74 m ²



工事名	「熊本県優良住宅仕様」仮設住宅		図面名	平面図 (1K+1K)	縮尺	1/50	図面No.	
	一般社団法人 熊本県優良住宅協会 熊本市新屋敷一丁目14番29号		日付	2016/5				



目隠し詳細 S:1/50

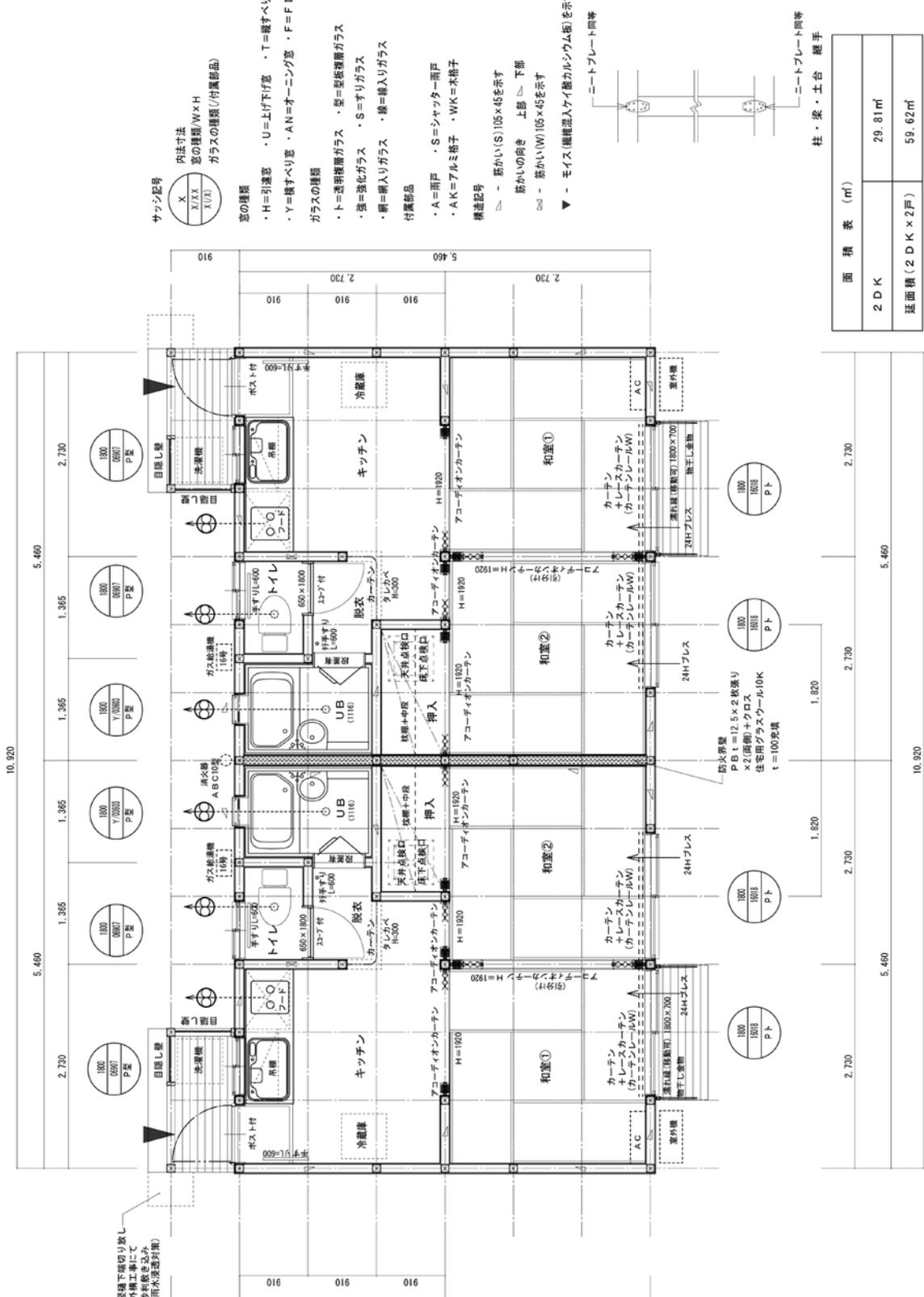
北側立面図 S:1/100

西側立面図 S:1/100

東側立面図 S:1/100

南側立面図 S:1/100

工事名	「熊本県優良住宅仕様」仮設住宅	図番名	立面図 (1K+1K)	縮尺	1/50, 100	図面No.	
日付	2016/5	一般社団法人 熊本県優良住宅協会 熊本市新羅敷一丁目14番29号					



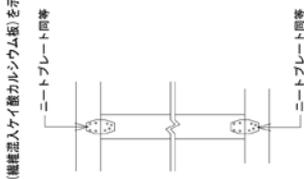
サッシ記号
 X 内法寸法
 Y/KX 窓の種類(W×H)
 Y(L) ガラスの種類(付属部品)

窓の種類
 ・H=引違窓 ・U=上下下げ窓 ・T=障子すり窓
 ・Y=横すり窓 ・AN=オーニング窓 ・F=FIX窓

ガラスの種類
 ・ト=透明複層ガラス ・型=型板複層ガラス
 ・強=強化ガラス ・S=すりガラス
 ・割=割入りガラス ・線=線入りガラス

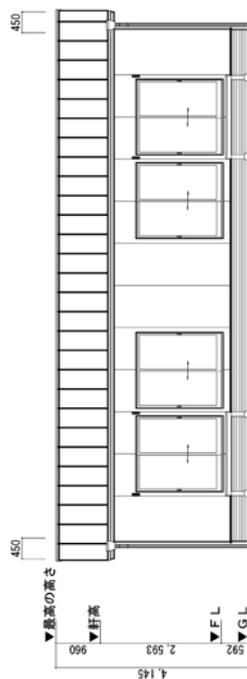
付属部品
 ・A=附戸 ・S=シャッター附戸
 ・AK=アルミ格子 ・WK=木格子

構造記号
 △ - 筋かい(S)105×45を示す
 ▽ - 筋かい(W)105×45を示す
 ▼ - モイス(縦線記入ケイ酸カルシウム類)を示す

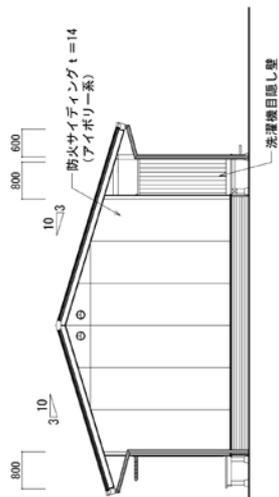


柱・梁・土台 継手
 ニートプレート同等

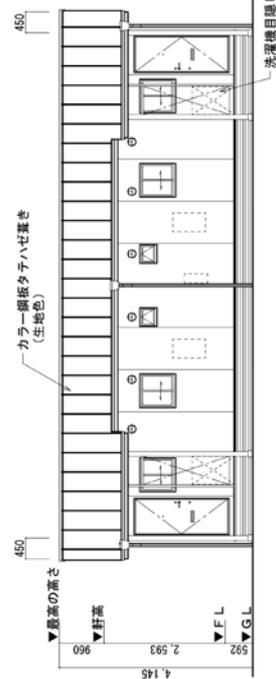
面積表 (m ²)	
2DK	29.81m ²
延面積(2DK×2戸)	59.62m ²



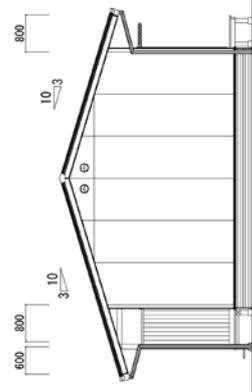
南側立面図 S:1/100



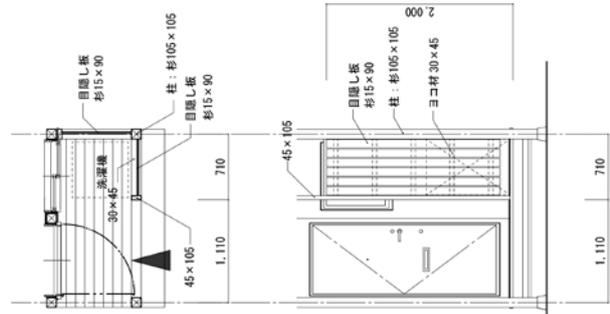
東側立面図 S:1/100



北側立面図 S:1/100

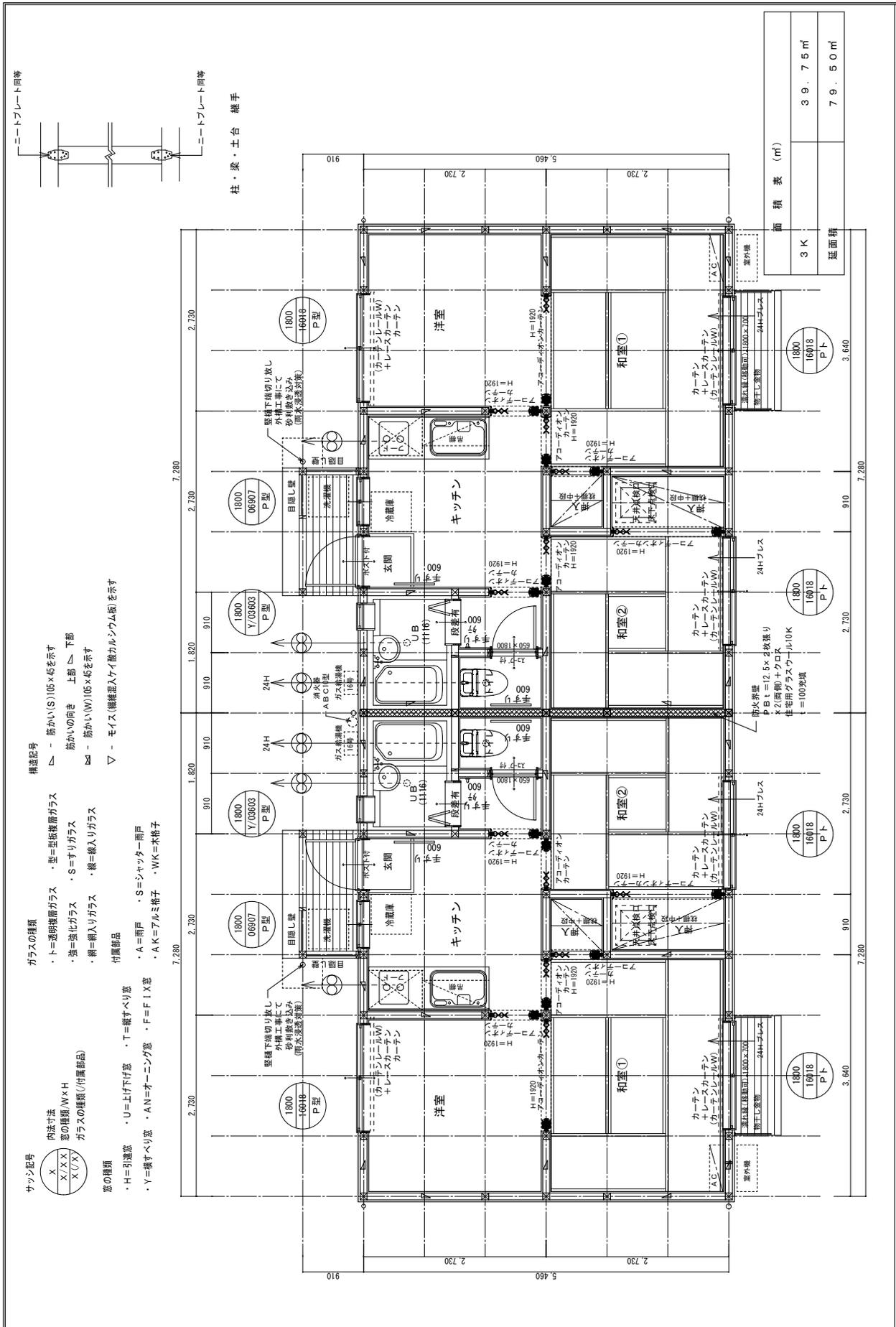


西側立面図 S:1/100



目隠し詳細

工事名	「熊本県優良住宅仕様」仮設住宅	図庫名	立面図 (2DK-2戸)	図面N.º.	1/100
日付	2016/5	図庫名	立面図 (2DK-2戸)	図面N.º.	1/100
一般社団法人 熊本県優良住宅協会 熊本市新風町一丁目14番29号					



工号名 「熊本県優良住宅仕様」 仮設住宅

一般社団法人 熊本県優良住宅協会
 熊本市新區第一丁目14番29号

日付 2016/5

図面名 平面図
(3K+3K)

縮尺 1/50

図面No.

4.(公社) 日本建築士会連合会・(一社) 木と住まい研究協会

木造応急仮設住宅建設の取り組み

1. 木造応急仮設住宅の取組と経緯

(公社)日本建築士会連合会は、平成28年5月6日、(一社)木と住まい研究協会と共同で熊本県と「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を締結し、熊本地震の被災における木造応急仮設住宅の建設に協力した。この木造応急仮設住宅は、本会の防災まちづくり部会が構想する木造の応急仮設住宅を活用している。これは、使用された木材の再利用を前提として、建築・解体・移設を容易にするために、ボルトやナットを使用しないはめ込み型の金物を使用した木造軸組工法を用い、各地の建築士会による面材をはじめとする全国的な備蓄の循環利用と合わせて、災害発生時に迅速な大量供給を可能とするものである。また、この仮設住宅は、東京オリンピック・パラリンピックに使用する仮設建築物の木造化を推進するためにも活用を検討していたものである。

平成28年4月14日、熊本地震の発生後、熊本県が木造による応急仮設住宅の建設について関心を持っていると、(公社)熊本県建築士会の会員から情報を得た。そこで、建設の緊急性に応えると共に地域の工務店による実効性を考慮し、防災まちづくり部会の協力企業であるナイスグループが東日本大震災に際して宮城県と福島県において建設及び建設協力を行った木造応急仮設住宅(1,088戸)の仕様をベースにして、熊本県の要望などを踏まえて仕様を改良した。そして、4月26日に熊本県に対してナイスグループが会員となっている(一社)木と住まい研究協会と共同で熊本県に建設協力の提案を行った。熊本県と協議を重ねた結果、5月6日に宇城市長の要請により当尾仮設団地(宇城市松橋町曲野)と豊野仮設団地(宇城市豊野糸井)、小川仮設団地(宇城市小川町南新田)の3団地、計60戸の木造応急仮設住宅の建設が決定した。決定後は速やかに建設を進め、当尾仮設団地及び豊野仮設団地は地震発生後1ヵ月となる5月14日に着工、6月11日に竣工、6月17日に入居を開始した。



写真1: 玄関袖壁に熊本県スギの間柱を使用



写真2: パワービルド工法により高精度、高気密、高耐震の構造で建築



写真3: 宇城市当尾仮設団地遠景。団地内のメインストリートはコミュニティゾーンとして広く確保

2. 仮設住宅の特徴 (スマートウェルネス住宅仕様)

今回の木造応急仮設住宅は、東日本大震災の木造応急仮設住宅にも使用されたナイスグループのパワービルド工法を採用した。同工法は構造躯体にボルトやナットを使用せずドリフトピンを打ち込む工法で、高い熟練度がなくても均一かつ精度の高い構造躯体を短工期で建築することが可能で、施工が容易な工法である。面材耐力壁には地震の揺れにも強い構造用パーティクルボードを採用し、繰り返される余震の揺れに備える安全な仕様とした。基礎については地域性を考慮した熊本県の仕様により、これまでの木杭からコンクリート製のベタ基礎とした。

住宅の仕様については、震災で心身共に疲労が蓄積している方々に向け、木の香りによるリラックス効果や木目の優しさ、温もり、柔らかさなど、木の効能による癒しの空間を目指して、スマートウェルネス住宅仕様とした。夏は暑く冬は寒いという地域性を考慮し、木の特長を生かして断熱性や調湿

性を高め、健康の維持・増進に寄与する家づくりに努めた。構造躯体（土台・大引き・梁・桁・管柱・間柱・束・母屋・垂木）をはじめ、外壁や野地、軒裏といった外装材や、床や腰壁といった内装材などにふんだんに熊本県産材を使用。住戸内は腰壁の多用により木質感あふれる空間とし、住棟間の通りについても木のぬくもりが感じられるコミュニティゾーンとなるよう設計した。

断熱性では、高精度により高い気密性を誇る外皮に加え、壁・床・天井の断熱材の厚みを十分にし、窓には Low-E ペアガラスを採用するなど、外皮平均熱貫流率 0.58W/m²k の高い設計性能で建設。冬の寒さや、結露によるカビやダニの発生を抑え、健康に配慮している。また、住戸間の界壁には 100 mm の断熱材を入れ、遮音性を高め、プライバシー性にも配慮している。



写真 4：熊本県産のスギの腰壁など木の温もりが感じられる住戸内



写真 5：アルミと樹脂の複合サッシと複層ガラスで断熱性能を確保した開口部



写真 6：熊本県八代産の畳が使用された和室

3. 熊本の力を結集して地域の復興へ

建設に当たっては、企画・設計・製材・加工・流通・施工・監理など川上から川下まで、地元熊本の事業者が連携して取り組むことを方針に据えた。宇城市の(株)高橋建設を建設事業者として熊本県に斡旋し、国土交通省の地域型住宅グリーン化事業に参加する工務店などの協力により建設が進められた。

木材や建材の調達や加工については、(一社) 木と住まい研究協会が、震災直後から製材事業者や流通事業者の被害状況を確認しながら協力を要請し、熊本県産材の確保に努めるとともに、地元を代表する流通事業者である、出田実業（株）（熊本県）、（株）田中材木店（熊本県）、圓佛産業（株）（熊本県）、肥後木材（株）（熊本県）、（株）松島木材センター（熊本県）などにより熊本県産材の調達が行われ、肥後木材（株）のプレカット工場などで加工が行われた。また、建設現場へのジャストインタイムの建築資材納品や工事の技術指導についても、同協会からの支援が行われ、工事は迅速かつ適切に行われた。地元の材料を使って地元事業者が主体的かつ一丸となることで、実質工期 3 週間という短期間で、高性能な建設を実現している。

4. 応急仮設住宅の建設を共有し未来に生かす

建設中の 5 月 27 日には (公社) 熊本県建築士会宇城支部が、熊本県立小川工業高校で建築を学ぶ約 60 人の生徒への現地建設見学会を実施し、未来の建築業を支える生徒たちに人の役に立つ物づくりの大切さを伝えた。「熊本のために熊本県の木を使って、熊本県のような事業者が協力し、被災者のために 1 日でも早い応急仮設住宅の建設に全力で取り組んでいる様は大変頼もしく、また、復興を支援するということは、ただ応急仮設住宅を建てるだけということではないことも分かった」「プレハブなどの簡単な構造かと思っていたが、通常の住宅と変わらないしっかりとしたつくりとなっていました。窓がペアガラスとなっているなど安心して暮らせるように建てていただいている」といった意見が上

り、参加した生徒たちからは大変勉強になり励みとなったとの声を多数いただいた。

6月17日からは入居がはじまり、入居者からは、外壁に木を用いたデザイン性や室内で感じる木の香り、木の温かみや質感、地元の木が使われているという愛着など、「やっぱり木造が良い」という喜びの声を多数いただいている。18日には熊本県の蒲島郁夫知事も視察にいらっしゃり、木造応急仮設住宅の特長を多くのメディアが報道している。知事からは木造の仮設住宅がとてもよくできており、ここに住む人々も良さを感じるであろうとの言葉をいただいていた。

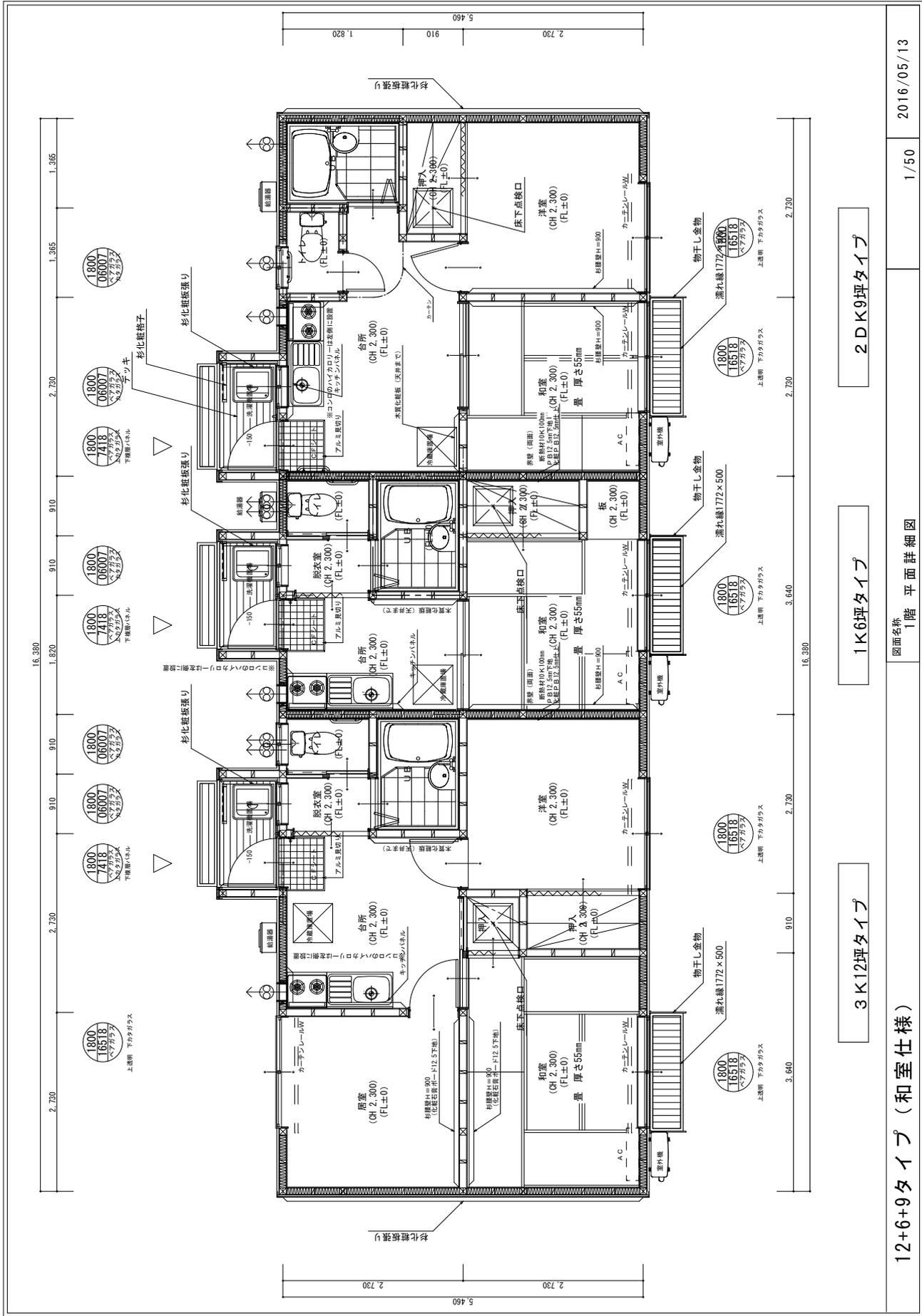
本会では、防災まちづくり部会に木造応急仮設住宅のワーキンググループを設置し、建築士会における幅広い工務店の参加と、全国規模のネットワークを生かした資材等の供給による木造応急仮設住宅の広域的な供給のスキームを、引続き検討していく。



写真7：5月27日、熊本県立小川工業高等学校建築科の生徒が建設現場を見学



写真8：6月18日、蒲島郁夫熊本県知事が視察。三井所清典会長と木と住まい研究協会の平田潤一郎専務理事が出席



12+6+9タイプ (和室仕様)

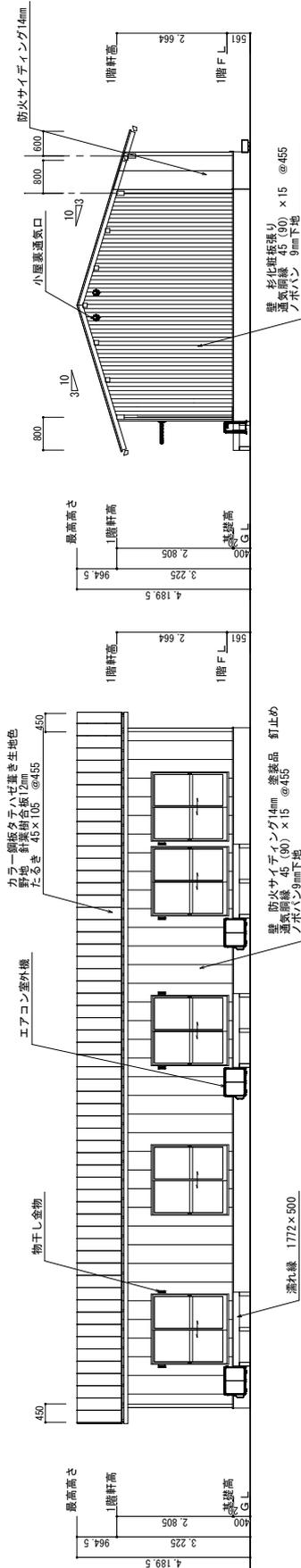
3K12坪タイプ

1K6坪タイプ

2DK9坪タイプ

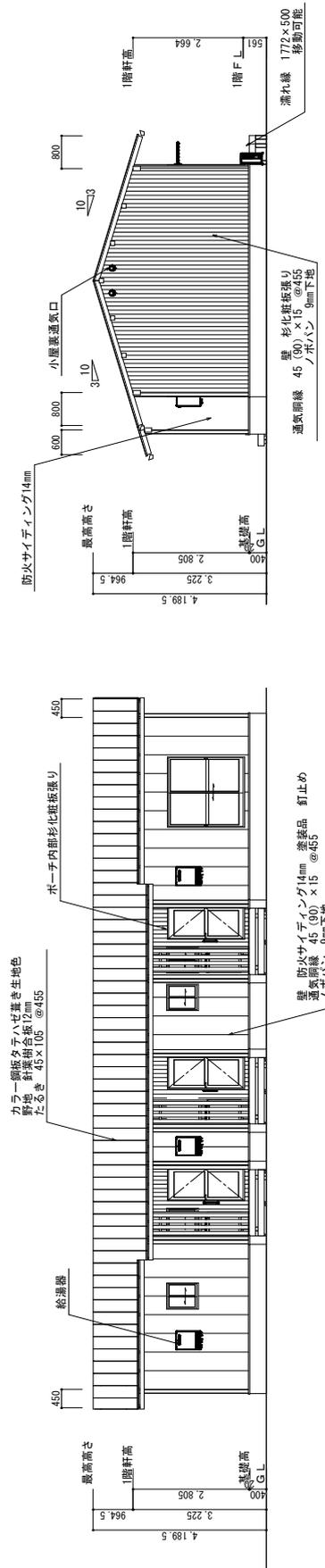
図面名称 1階 平面詳細図

1号棟、3号棟
4号棟、5号棟
8号棟



東側立面図 S:1/100

南側立面図 S:1/100



西側立面図 S:1/100

北側立面図 S:1/100

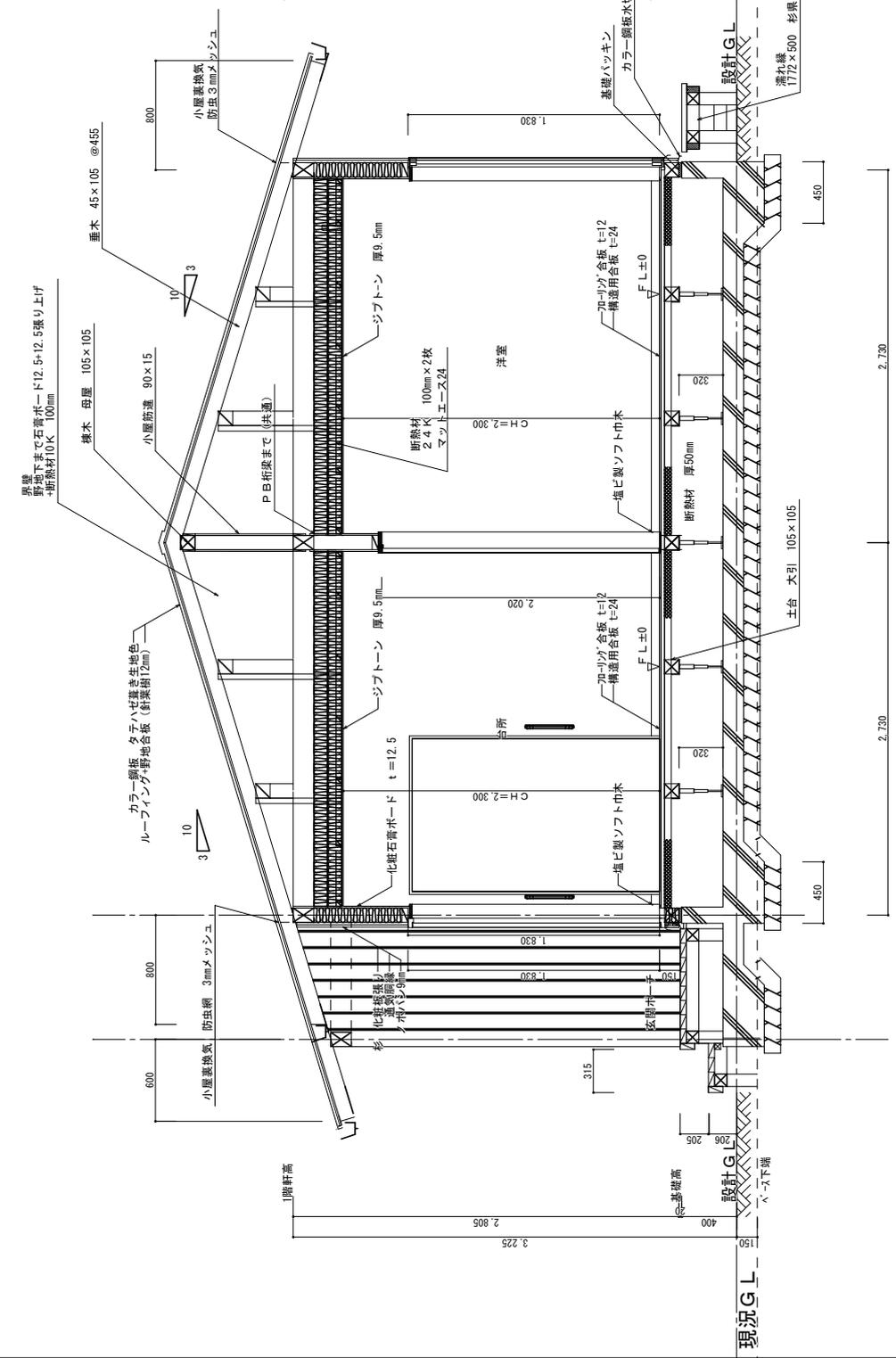
12+6+9タイプ (和室仕様)

図面名称 南側立面図, 北側立面図, 東側立面図, 西側立面図

1/100

2016/05/13

小屋裏換気計算
 必要面積
 $1/250 \times 7280 \times 5460 = 0.159 \text{ m}^2$ ---①
 計画面積
 $0.105 \times 0.41 \times 32 \text{ 箇所} = 1.3776 \text{ m}^2$
 有効換気面積係数
 防虫網3mmメッシュ=0.15
 $1.3776 \times 0.15 = 0.20664 \text{ m}^2$ ---②
 ①<② OK
 全面メッシュが必要



5.みんなの家（談話室、集会所）

「みんなの家」(談話室・集会所) 建設について

1. 84 棟の「みんなの家」を整備

熊本県内の応急仮設住宅 62 団地に 84 棟の「みんなの家」(木造の談話室・集会所。P4、P9、P17～19 参照) が整備された。

84 棟のうち 76 棟は、入居者に早期に活用してもらうため、「規格型みんなの家」として、くまもとアートポリス (KAP) コミッショナーの建築家伊東豊雄氏らにより標準設計が作成され、仮設住宅とほぼ同時期に整備された。「規格型みんなの家」は、畳敷きとした談話室 (40㎡) と、土間を設けた集会所 (60㎡) の 2 パターンで、仮設住宅の基礎形式に併せて、木杭若しくは RC 基礎で整備された。

残り 8 棟の集会所 (60㎡) は、KAP プロジェクト*として伊東コミッショナーから推薦された設計者が、入居者と意見交換を行い、設計を進めていった。その結果、大きなキッチンがあるもの、子供たちの勉強スペースを設けたもの、板張り畳の段差のない空間にしたものなど、まさに入居者の意見を反映したみんなで作る「本格型みんなの家」が誕生した。完成時には、入居者が KASEI (九州建築学生仮設住宅環境改善プロジェクト) の学生たちと餅つきや演奏などで完成を祝うイベントが開催された。



規格型みんなの家 (集会所・60㎡) の利用の様子



本格型みんなの家/完成イベントの様子

2. 全国木造建設事業協会、熊本県優良住宅協会、日本建築士会連合会・木と住まい研究協会が建設

84 棟のうち 59 棟を全国木造建設事業協会が、19 棟を熊本県優良住宅協会が、6 棟を日本建築士会連合会・木と住まい研究協会が建設した。

3. 小規模仮設住宅にも「みんなの家」を整備

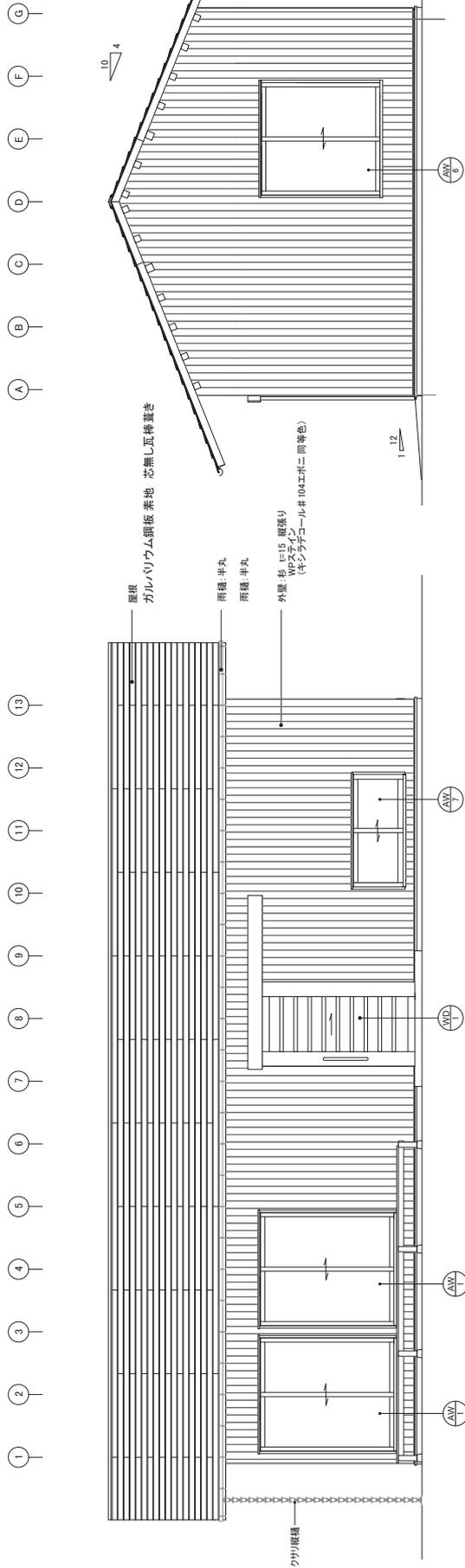
2017 年 1 月、災害救助法による集会施設整備基準に満たない 20 戸未満の小規模仮設住宅にも、日本財団わがまち基金を活用して「みんなの家」を整備することが決定し、団地を管理する市町村から整備要望のあったものから順次、設計が進められている。

この設計にあたっては、KAP プロジェクトとして伊東コミッショナーから推薦された設計者が、入居者の意見を設計に反映させていく。

構造・規模は木造平屋建て、30㎡程度で、事業主体は (一財) 熊本県建築住宅センターが担う。最初の 9 棟は、4 月下旬から 5 月下旬に着工し、6 月下旬から順次完成の予定である。

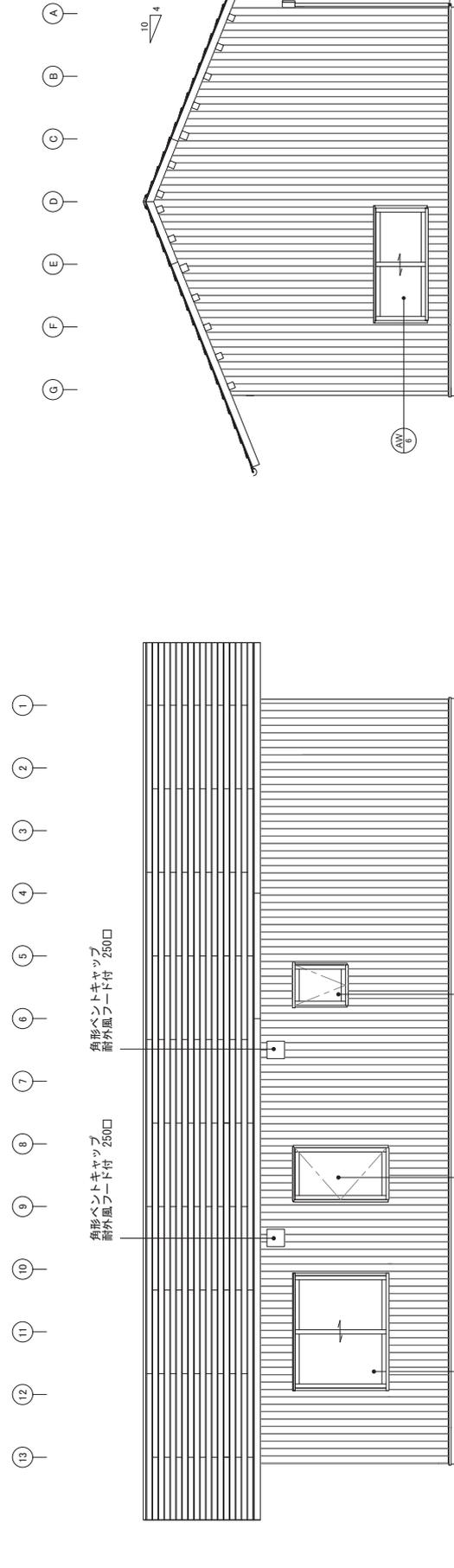
また、他の団地などでも、県が関係市町村や日本財団と協議し、整備を進めていくこととしている。

※くまもとアートポリスプロジェクト: 対象となるプロジェクト (施設) の設計者をコミッショナーが推薦したり、設計者の選定方法を提案したりする KAP の「プロジェクト事業」として実施。このほか、「くまもとアートポリス」には「顕彰事業」と「企画運営・広報普及活動・人材育成」などの事業がある。



東立面図 S=1:60

南立面図 S=1:60



西立面図 S=1:60

北立面図 S=1:60

PROJECT くまもとアートポリス 西原みんなの家 新築工事	DRAWING 立面図	DATE 2016. 5. 11	NO. A-03
		SCALE S=1:60	

集会所

■ 外部仕上表

部位	仕上	下地	備考
屋根	着色ガルバリウム鋼板 t0.5 防湿層(元且ヒューテック) 断熱ICエーデル 0.5(断熱R0001S同等)	下地: コムアスルーフイング 22kg (田島コーポレーション製) 野地板: 断水合板 t=12 遮断層 ポリスチレンフォーム 3種 t=150	軒線: 半丸 横線(ナカリ) (ナカハツシロウワム鋼板) 換気棟: ガルバリウム鋼板 (元且ヒューテック防湿層付) 断熱ICエーデル
外壁	WPステイン(大板)キョリテック #10エーデル(同色) #15 巾105 本業塗装	遮断層: 杉 20×35 φ455 断熱ICエーデル(大板)キョリテック #10エーデル(同色) 野地板: ポリスチレンフォーム 3種 t=150	補注: WPステイン(大板)キョリテック #10エーデル(同色) 断熱ICエーデル
軒天	WPステイン(大板)キョリテック 杉羽目板 t12×120 合張り	野地板: 断水合板 t=12	
漆喰	WPステイン(大板)キョリテック #10エーデル(同色) 袖又は(赤身) 30×150 目隠し 袖又は(赤身) 30×150 目隠し 袖又は(赤身) 30×150 目隠し 袖又は(赤身) 30×150 目隠し	大引: 杉 30×80φ910 WPステイン	
テラス	WPステイン(大板)キョリテック #10エーデル(同色) 袖又は(赤身) 30×150 目隠し 袖又は(赤身) 30×150 目隠し	大引: 杉 30×80φ910 WPステイン 火打板: 杉 80×80 WPステイン	
スロープ	WPステイン(大板)キョリテック #10エーデル(同色) 袖又は(赤身) 30×150 目隠し 袖又は(赤身) 30×150 目隠し	構造用合板 t=24 大引: 杉 30×80φ910 WPステイン 立下り下地: 断水合板 t=12	手摺: 杉 WPステイン 手摺子: 杉 WPステイン
根廻り	モルタル根廻り仕上 根廻り水切り ガルバリウム鋼板 t=0.4		
テラス屋根 (北側)	ポリカーボネード(9キロイボリ)カラー #1300スレート大 #6607(7777)	下地: 杉 45×45φ900以内 WPステイン 断熱: 杉 35×35φ1800以内 WPステイン 防湿: 杉 35×35φ900以内 WPステイン	
テラス屋根 (南側)	太陽電池モジュール	巾量: 杉 105×150 WPステイン	

■ 内部仕上表

壁名	床		壁		天井		備考
	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	
イベントスペース (土間)	遮断層付材料 (722キョリテック)カラー仕上げ(7777同等品)	OS(白)	水機下(白)遮断層付材料(ニベア)シート (同等品)	仕上	OS(白)	OS(白)	換気口、吊戸棚、Hヒーター、換気フード、カーテン、カーテンレール、手摺、換気扇、出入口扉、エアコン、換気扇、水廻り設備、給湯設備、暖房口(防湿層付) ※ハウスメーカー(板の間)床は遊びのコーナー長と同様
	土間コンクリート全平仕上	木製巾水 H=80	石巻ボード t=12.5	下地	構造合板 t=12 ※タコノコ敷き合板を仕上りとする	構造合板 t=12 ※タコノコ敷き合板を仕上りとする	
遊びのコーナー	土間コンクリート全平仕上	OS(白)	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	仕上	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	1,600
	遮断層付材料 (722キョリテック)カラー仕上げ(7777同等品)	木製巾水 H=80	杉 15×15 杉 25×40	下地	杉 15×15 杉 25×40	杉 15×15 杉 25×40 下地合板 t=5	
収納	土間コンクリート全平仕上	OS(白)	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	仕上	構造用合板 t=12 漆喰	構造用合板 t=12 漆喰	2,200
	遮断層付材料 (722キョリテック)カラー仕上げ(7777同等品)	木製巾水 H=80	杉 15×15	下地			
キッチン	土間コンクリート全平仕上	OS(白)	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	仕上	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	2,180
	断水合板 T1 t=12 漆喰	木製巾水 H=80	杉 15×15	下地	断水合板 T1 t=12	断水合板 T1 t=12	
サポートセンター	断水合板 t=5 (田島コーポレーション製)	OS(白)	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	仕上	EP(白)	OS(白)	2,823 (換気) カーテン、カーテンレール、エアコン、換気扇、暖房口(防湿層付)、TEL用スリーブ、TV端子
	構造用合板 t=24	木製巾水 H=80	杉 25×25	下地	石巻ボード t=12.5	構造合板 t=12 ※タコノコ敷き合板を仕上りとする	
多目的トイレ	断水合板 t=5 (田島コーポレーション製)	OS(白)	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	仕上	EP(白)	OS(白)	2,823 (換気)
	土間コンクリート	木製巾水 H=80	杉 25×25	下地	断水合板ボード t=12.5	構造合板 t=12 ※タコノコ敷き合板を仕上りとする	
倉庫	断水合板 t=5 (田島コーポレーション製)	OS(白)	乳白色ワックス仕上げ (リノレイ)白木用ワックス(同等)	仕上	断水合板 T1 t=12 漆喰	断水合板 T1 t=12 漆喰	2,400
	土間コンクリート	木製巾水 H=80	杉 25×25	下地	断水合板 T1 t=12 漆喰	構造合板 t=12 ※タコノコ敷き合板を仕上りとする	

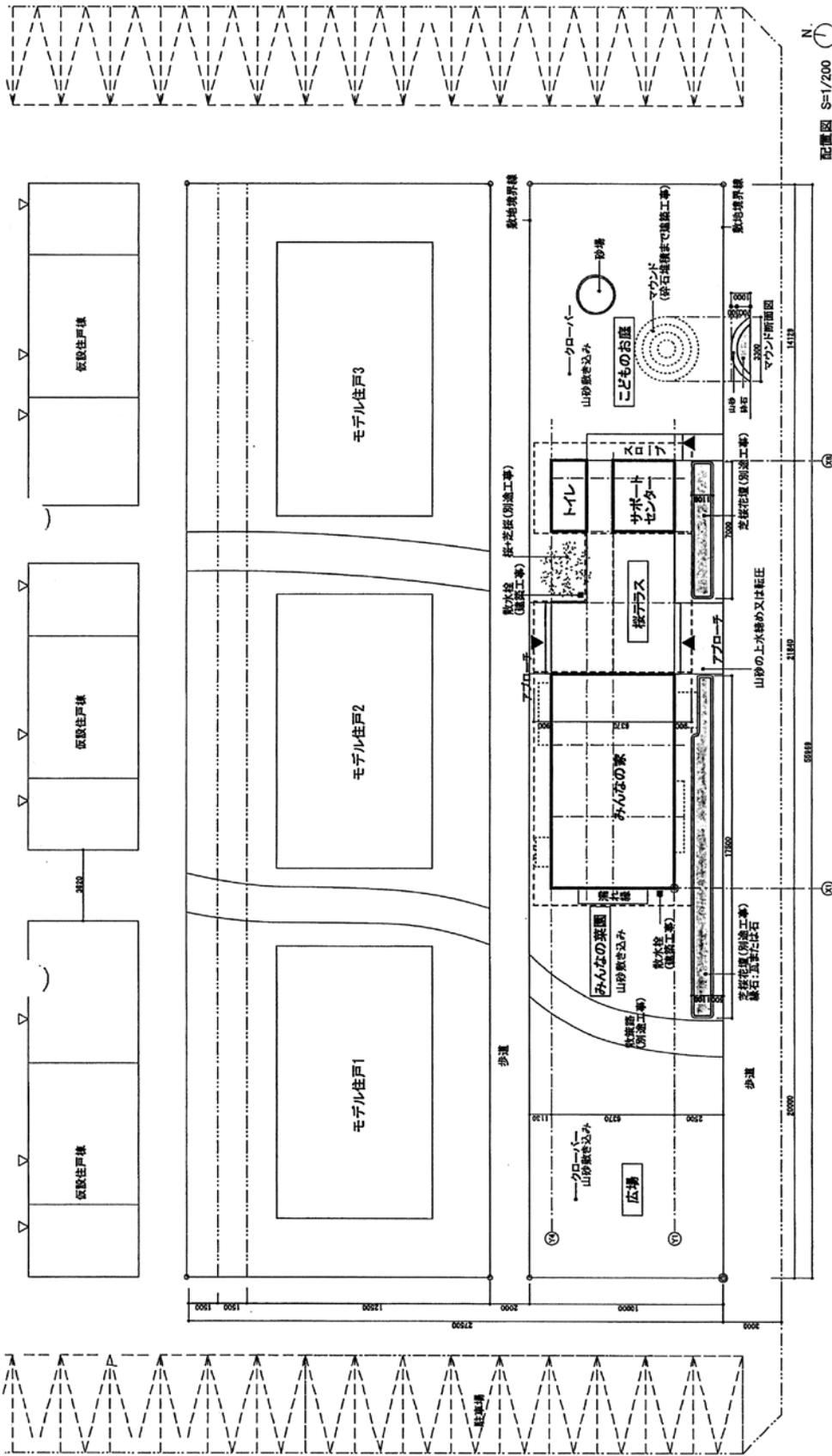
■ 支給建材リスト

部位	品名	メーカー	品番	備考
屋根	着色ガルバリウム鋼板 t0.5 防湿層(元且ヒューテック) 断熱ICエーデル 0.5(断熱R0001S同等)	元且ヒューテック	断熱ICエーデル(7777)カラー仕上げ(7777同等品)	色: R0001S
換気棟	ガルバリウム鋼板	元且ヒューテック	元且住宅システム換気棟 通し	
出窓窓頭	着色ガルバリウム鋼板 t0.5 防湿層(元且ヒューテック) 断熱ICエーデル 0.5(断熱R0001S同等)	元且ヒューテック	7777-24 0.5断熱板 R0001S R-05 支給	
屋根	軒線+巾量具(4ヶ所各1個)	タカハツシロウワム	軒線半丸 t05: GGF-20036 巾量具: GGF-22F48	
屋根	縦張+断水合板(ラフ)	タカハツシロウワム	enu(ラフ)M: GGF-46438、enu(専用)断水合板	
屋根	コムアスルーフイング 22kg	田島コーポレーション	7777-24-02	
屋根	太陽電池モジュール	太陽工業	ソーラーパネル(7777)カラー仕上げ(7777同等品) ※下地換気扇+断水合板+断水合板+断水合板	太陽工業参考図参照
サッシ	AW-1式	LIXIL		A-10 断水合板参照
衛生器具	トイレ+キッチン+衛生器具一式	LIXIL		M-01 断水合板参照
照明器具	照明器具(大光電燈のみ)一式	大光電機		E-01 電氣設備参照
床	長尺板 t=5	田島コーポレーション	バーニッシュ(ブルー)4220	

※QL+1m以下は防蟻材塗布のこと
※全ての支給建材は現場納入まで無償、ただし、キッチン・換気扇・エアコン・断水合板(5×5×5)以上を併用する場合は別途見積り。
※太陽光パネル: 工事2日間の、太陽工業より、1名アドバイザー常駐を無償提供。

※QL+1m以下は防蟻材塗布のこと
※全ての支給建材は現場納入まで無償、ただし、キッチン・換気扇・エアコン・断水合板(5×5×5)以上を併用する場合は別途見積り。
※太陽光パネル: 工事2日間の、太陽工業より、1名アドバイザー常駐を無償提供。

集会所



■床面積算定表

① $6.37 \times 10.92 + 3.185 \times 0.65 + 1.82 \times 1.1$
 $= 69.55 + 2.07 + 2.002$
 $= 73.632$

② $3.64 \times (3.185 + 0.9) = 14.869$

③ $2.73 \times 1.82 = 4.969$

④ $0.91 \times 1.82 = 1.656$

延床面積: ①+②+③+④=96.126 m²

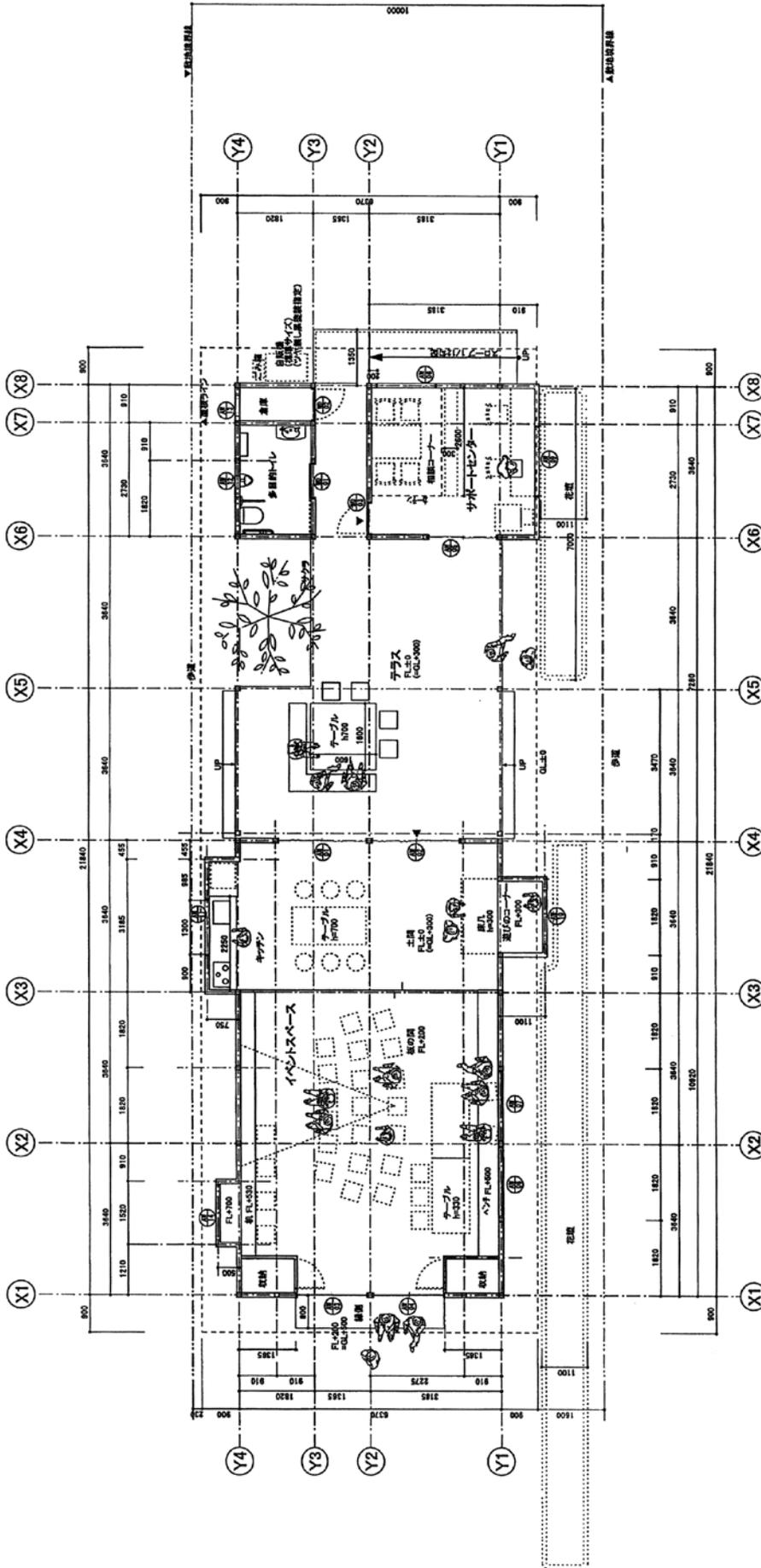
建築面積: ①+②+③+④+a=132.233 m²

a $7.28 \times 4.55 + 3.64 \times 1.365$
 $= 33.124 + 4.969$
 $= 38.093$

配置図 S=1/200

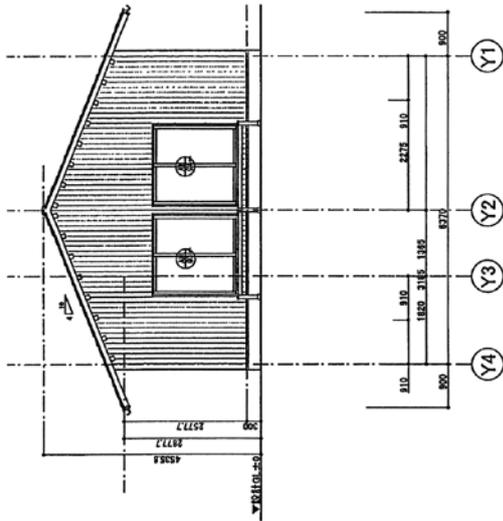
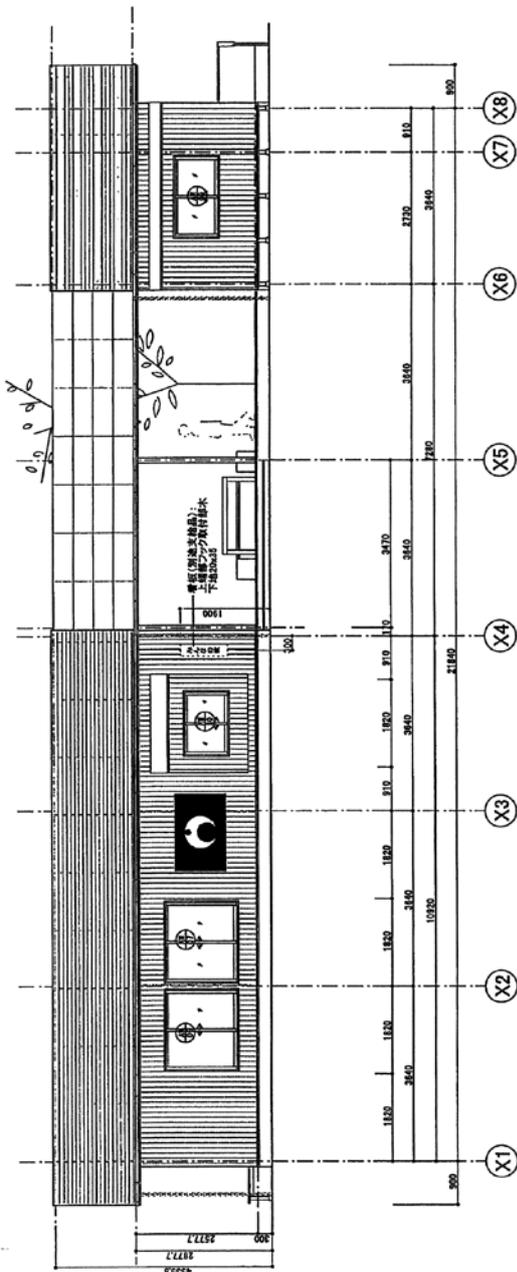
PROJECT	〈まちとアートポート〉芸術町クノ本型型みんなの家 新築工事
ARCHITECT	有限会社 藤野設計事務所 Mitsuo Obaro Architects
DRAWING	配置図・面積表
DATE	2016.10.12
NO.	A-02
SCALE	1/200

集会所



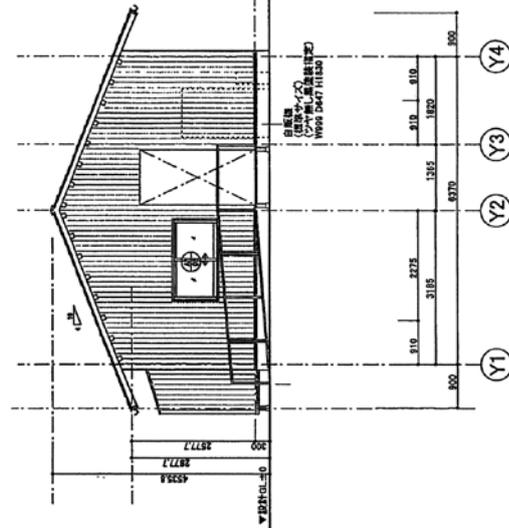
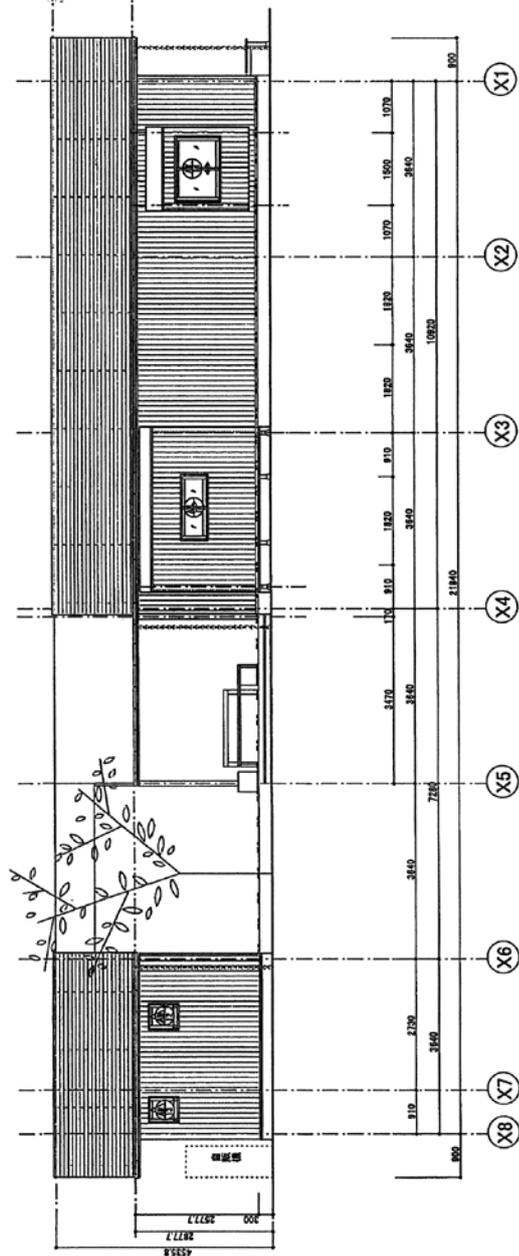
平面図 S=1/100

PROJECT	くまもとアートポリス 基城町子クノ本格型みんなの家 新築工事	ARCHITECT	岡野洋子建築設計事務所 Michiko Ohno Architects	DRAWING	平面図	DATE	2018. 10. 12	NO.	A-03
			〒112-0003 東京都目黒区北沢4-41-4-001 TEL 090-99- 一級建築士事務所 東京都建設局登録事務所			SCALE	1/100		



南立面图 S=1/100

西立面图 S=1/100



北立面图 S=1/100

东立面图 S=1/100

PROJECT	〈まもとアートポリス 基城町子ノ木特型みんなの家 新築工事〉	ARCHITECT	田野洋子建築設計事務所 Michiko Ohano Architects	DRAWING	立面图	DATE	2016.10.12	NO.	A-04
			〒152-0003 東京都目黒区碑文谷4-21-401 TEL.03-5827-4644 一級建築士事務所 東京建築家登録第00989号	SCALE	1/100				

6.熊本地震における木造応急仮設住宅建設を終えて

はじめに

地方公共団体が災害時に応急仮設住宅に取り組むにあたっては、「応急仮設住宅建設必携中間とりまとめ」が H24 の 5 月に国土交通省により行われ、その準備が進んでいるが、地域の木造住宅生産者グループが緊急性を持ち木造応急仮設住宅等に取り組むための資料が不足している。

これまでの木造応急仮設住宅の調査記録は、設計内容や仕様等の記録が主たるものであったので、ここでは、主に熊本工務店ネットワーク（KKN）のヒアリングをもとに、木造応急仮設住宅に取り組むにあたり、事前にどのような準備や検討を行わねばならないのか、資料化を試みた。

1. 応急仮設住宅が必要とされる恐れのある災害

今回の熊本では地震による災害が主だったが、災害基本法では「災害」の定義として「暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、その他の異常な自然現象（火山爆発、旋風、突風、地滑り、雪崩等）または大規模な火災もしくは爆発、その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害をいう。」とされている。

少なくとも、地震や津波以外でも、想定外の台風や集中豪雨、それによりもたらされる洪水や地滑り等についても、地域の特性により発生時の対応を検討しておく必要がある。

具体的には、各県の防災計画に基づき、協定を結んだ各県の団体が起こり得る災害ごとに、どのような初動を取るのか決めておく必要がある。

2. 初動体制の整備

熊本地震における工務店の被災時の記録がある。

160414	前震	3～4時間で顧客約200人に電話確認
0415		事務所機能の復旧
0416	本震	社員は自宅待機
0418	2日目	出社可能な社員は半日かけて出社・事務所機能の復旧作業
0419	3日目	事務所機能の復旧に2日間かかる
0420	4日目	顧客全員に電話による状況確認 雨漏り養生・防犯養生開始 約2週間で雨漏り養生・防犯養生が概ね終る。並行して 工務、大工2人1組で顧客住宅の被害状況調査（3h/1棟） 順次 復旧工事開始

前震から本震、そして4日目までの記録だが、前震（震度6）から事務所機能の普及は2日、本震（震度7）ではその日は何もできず、その後2日かかり事務所機能を復旧させ、4日目から顧客対応に追われる様子が分かる。

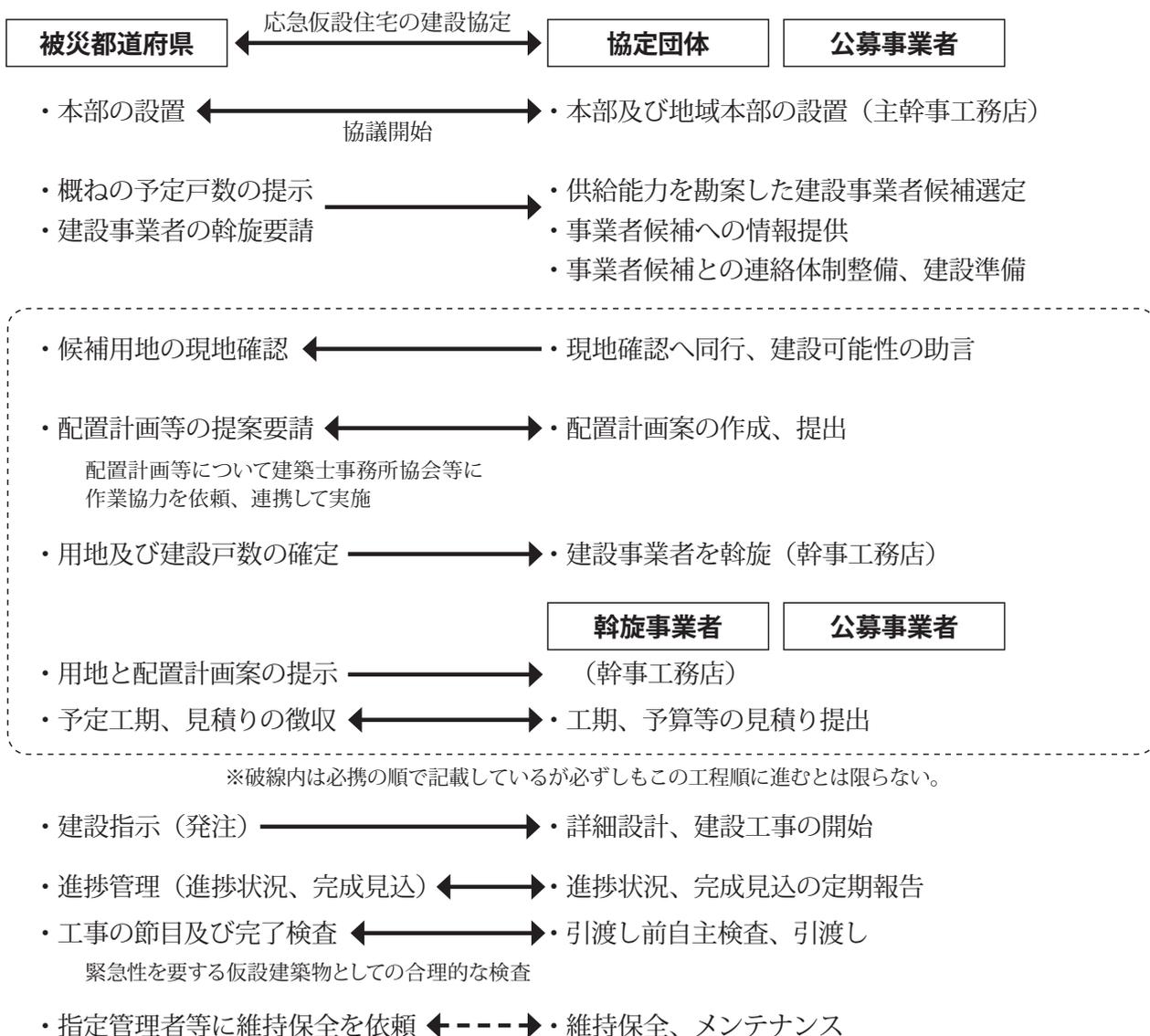
こうした中で熊本地震では、熊本県は本震から2日目に災害協定に基づきプレハブ建築協会等へ応急仮設住宅の建設要請がされており、また、災害救助法では災害発生の日から20日以内に応急仮設住宅の着工が定められている。

この建設要請を受けられる現地事務所機能やスタッフ等の体制や、直ぐに着工に向け資材を発注・供給・配送ができる体制づくりが求められる。

3. 体制づくりに向けて

次の図は、国土交通省がまとめた「応急仮設住宅建設必携 中間とりまとめ」から、県と協定地域団体がどのような過程を経て、応急仮設住宅が着工になるかをまとめた。

災害時における建設事業者の確定・発注（応急仮設住宅建設必携 中間とりまとめより）



このスキームでは、協定団体が建設事業者を斡旋してその斡旋事業者が県から建設指示（発注）を受け、工事を進捗させる形式となっているが、今回の熊本地震の場合は、協定団体の主幹事工務店が、建設指示までの敷地測量や各団地の配置計画・建設費の見積り等を行った上で、早期着工に向け資材等の事前発注を行なう必要があったため、主幹事工務店が建設指示を受け、それを各団地を施工する幹事工務店に割り振るスキームとなった。

①対策本部の設置

災害が起こると同時に被災県では、県の対策本部が設置される。これに対応する形で協定団体も対策本部及び地域対策本部を設置し供給能力の確認等の今後の協議に向けた体制づくりに早期に掛かる必要がある。

今回に事例では、「全木協」の対策本部が本震後すぐに本部のある東京に設置され、熊本の地域団体（KKN）との協議を始めた。

②主幹事工務店

被災県は協定を結んだ団体への建設要請後、建設戸数や建設場所などの協議を始めるが、実質的には現地の協定団体の主体を主幹事工務店が担うこととなる。

主幹事工務店は、特定建設業が求められる場合がある他、今回の500戸規模の建設を考慮すると少なくとも30億円の与信管理能力を持つ必要がある。

また、県が主催する候補地に関する連絡会議がたびたび開催される。主幹事工務店は、こうした会議で、着工・竣工時期、その時点での供給能力などについて適切な回答や決断ができる能力を求められる。加えて、建設依頼に基づいた一団の団地の配置設計能力や、その変更要請に即座に答えられる設計能力も必要となる。資材発注においても地域建材店に対して、通常の発注業務とは異なり、多くの部材、建材、設備等を見込みで発注しなければならず、こうした信頼関係を持っておく必要もある。今回の全木協も主幹事工務店は、設計担当者数名が初期はほぼ不眠不休で対応にあたり設計対応してきたことが報告されている。また、早期に基礎組合や畳組合、屋根会社などの協力事業者との仮設住宅の建設を第一とする協力体制を築くと共に、地域建材店を通して、建設戸数に見合ったユニットバスや合板、ボード、断熱材等の確保を行っている。

したがって、主幹事工務店は特定建設業を持ち、高い与信能力と同時に仮設住宅建設にあたり発注側の県に対しての適切なアドバイス、建設戸数、着工時期などの決断が出来る人材や、高い設計能力を持つ人材を抱え、協力事業者や地域建材店との協力体制を築ける資質を持つ必要がある。

③ 幹事工務店

幹事工務店は、いわば仮設団地ごとの担当工務店のことである。仮設団地の戸数が多い場合は、工区分に基づき1団地に2つ以上の幹事工務店が入る場合もある。

幹事工務店は、主幹事工務店との協議や指示に基づき現場の着工から外構工事を含め竣工まで、監督（現場代理人）を出し工程、安全、資材管理に責任を持って工事を担う役割を持つ。

今回の全木協の幹事工務店は、建設後のメンテナンス等も配慮して、仮設団地の建つ地域の地元工務店が、原則担った。

④ 地域建材店

地域建材店は、主幹事工務店からの情報に基づき仮設住宅建設戸数に合わせ調達可能な建材、資材、設備等の仕様について主幹事工務店と協議の上、タイプ別に拾い書の作成し、主幹事工務店が提出する県への見積書作成に協力を行う。

地域建材店は、住棟タイプ別の建材、資材、設備等の拾い書に基づき工程を踏まえた事前発注を行い、現場の状況に合わせ、基礎完了→上棟→透湿防水シート完了などに合わせ建材等の配送計画を立て供給する。

今回の全木協の地域建材店は、住棟タイプに合わせた建材等の拾い出しと発注のみならず、団地ごとのメーカー直送や倉庫からの配送計画に合わせ、現場に人員を送り込み、取り付け間違いが起らないように荷降ろしから取り付け位置への「間配り」までを担い、短工期での竣工へ向けた人員・配送体制をとっている。

⑤ 木材供給

木造仮設住宅に使用される木材は、3.5寸角を基本とした一般流通材を活用することが大切である。

今回の熊本地震は、全国でも有数の木材供給県である熊本県で起こったことが幸いし、地震によって一時的に停止した新築需要により、県内でだぶついた県産材を活用することができた。

プレカット工場についても、工場そのものが大きな被害を受けずに新築需要が停止したため、一時的な空き状態となっていたことで、木造応急仮設の需要に答えられた。

しかし、災害を受けるのが木材供給県とは限らず、一般流通材の利用だとしても、木材供給手法を地震や水害等と災害ごとにシミュレーションを行っておく必要がある。

また、地元優先で考えるにしても、どこのプレカット工場を使った流通体制を築くのか、プレカット工場の被災可能性を含め検討しておく必要がある。プレカットについては、日本のほとんどが2社の機械を使っていることを考えると、タイプごとにプレカットデータをあらかじめ利用可能なように整理しておくことも考えられる。

⑥ 労働者供給事業

木造応急仮設住宅の建設のカギを握っているのは、労働者供給事業と言える。

今回の熊本地震では、主幹事工務店と全建総連との労働協約締結に基づき、大工のみの職種であったが労働者供給事業が行われた。

今回の全木協の場合も、建設初期に大工工事の主体となっていたのは、全建総連の地元組織である熊本県建築労働組合の組合員であったが、本震後3か月を過ぎると、地元の顧客の要望にこたえなくてはならず、地元の大工は修理や復旧等に追われることとなり、九州の他県や中国地区、四国地区をはじめ、関東地区からも応援の大工の動員が必要となった。

今回の約500戸の仮設住宅供給に当たっては、短期間で大工約500人（延べ人工数約15,000人）を要していることから、木造仮設住宅では、全国の建設職人を被災地に動員する仕組みを持つ全建総連による大工を中心とした労働者供給事業は不可欠となる。

⑦ 応急木造仮設住宅の建設工程の事例

図（次ページ）は、今回のある応急木造仮設住宅団地の工程表である。資材発注や各工程の工期等について掴むことができる資料として載せる。

4. 今後の木造仮設住宅の供給に向けて

被災した市町村からは、今回、木造応急仮設住宅の建設要望が多く寄せられた。やはり仮設住宅にあっても、これまで住んでいた住宅と変わらない環境で暮らしたいという被災者の願いが強いようである。

こうした要望にこたえるためにも、全国組織である「全木協」は全国どこで災害が起きても1,000戸程度（望めば月間500戸）の供給体制の構築が望まれる。

また、今回は林産県における被災であり木材供給施設の被害が少なかったためスムーズな木材供給が可能であったが、今後予想される災害において、被災状況に応じた体制づくりが可能かのシミュレーションも必要になる。

災害協定を締結した県ごとに、地域団体と県とで防災計画に基づき供給体制確保の仕組みづくりが望まれる。

また、全建総連における労働者供給事業にあっては、東日本大震災、熊本地震と大工のみの供給であったが、今後は様々な職種において職人不足が懸念されている中、現在は大工の身でしか行われていない労働者供給事業への他職種の登録など、幅広い対応も必要になろう。

加えて、共同体制の事前確立も必要で、地域の工務店の連携だけでなく、今回のように災害時における他の業種組合との連携や、強力な資材購入、適正配送に向けた人的体制の確立など、他の協力業界との事前に協力体制の確立をすることも重要である。

7.木造応急仮設住宅団地一覧・位置図

木造応急仮設住宅団地位置図



熊本地震 木造応急仮設住宅団地一覧

(一社)全国木造建設事業協会			敷地面積 (有効敷地面積)	住宅戸数				集会所等 整備の有無		竣工日 (検査日)	施工工務店
※	団地名	建設地		6坪タイプ	9坪タイプ	12坪タイプ	合計	談話室	集会所		
1	宇土市境目第3仮設団地	宇土市境目町618番地1	1,900㎡ (1,900㎡)	0	10	2	12	無	無	9月20日	㈱エバーフィールド
2	宇土市境目第2仮設団地	宇土市境目町483番地1	1,930㎡ (1,930㎡)	5	8	1	14	無	無	10月28日	㈱エバーフィールド
3	宇城市当尾仮設団地 第二期工事	宇城市松橋町曲野1624-22	6,803㎡ (6,803㎡)	11	24	9	44	無	有	8月5日	黒田建築 ㈱エバーフィールド
4	小川(宇城市南出村)仮設 団地 第二期工事	宇城市小川町南新田564-8	5,900㎡ (5,900㎡)	4	12	3	19	無	無	7月28日	㈱エバーフィールド
5	宇城市豊野仮設団地 第二期工事	宇城市豊野町糸石2966	11,364㎡ (1,624㎡)	2	6	2	10	無	無	8月6日	黒田建築
6	宇城市御領仮設団地	宇城市不知火町御領35ほか	3,500㎡ (1,500㎡)	2	6	2	10	無	無	7月25日	黒田建築
7	宇城市井尻仮設団地	宇城市小川町西北小川409	3,229㎡ (3,229㎡)	6	9	5	20	有	無	10月27日	㈱エバーフィールド
8	宇城市曲野長谷川仮設団地	宇城市松橋町曲野3502	2,216㎡ (2,216㎡)	2	9	2	13	無	無	10月22日	黒田建築
9	美里町中央庁舎仮設団地	下益城郡美里町馬場1110	13,348㎡ (1,650㎡)	3	14	2	19	無	無	1期:7月17日 2期:9月26日	㈱五瀬建築工房 ㈱本田住建
10	美里町砥用仮設団地	下益城郡美里町三和430	1,050㎡ (1,050㎡)	1	4	2	7	無	無	8月13日	㈱五瀬建築工房 ㈱本田住建
11	美里町くすのき平仮設団地	下益城郡美里町坂貫583	4,300㎡ (1,884㎡)	4	7	4	15	無	無	10月14日	㈱五瀬建築工房
12	阿蘇市内牧仮設団地	阿蘇市内牧267-3	3,830㎡ (2,972㎡)	5	9	5	19	無	無	7月19日	㈱コムハウス
13	阿蘇市三久保仮設団地	阿蘇市三久保524	5,125㎡ (3,920㎡)	4	13	9	26	有	無	7月9日	㈱モリスデザイン
14	阿蘇市黒川仮設団地	阿蘇市黒川1176	4,490㎡ (4,490㎡)	7	13	6	26	有	無	8月19日	日本ハウジング㈱
15	阿蘇市北塚仮設団地	阿蘇市黒川881-6	8,440㎡ (5,410㎡)	8	14	8	30	有	無	8月24日	㈱モリスデザイン
16	産山村上山鹿仮設団地	阿蘇郡産山村山鹿460番地	829㎡ (829㎡)	1	2	2	5	無	無	7月31日	日本ハウジング㈱
17	産山村上止り山仮設団地	阿蘇郡産山村大利607番地2	1,590㎡ (730㎡)	1	3	0	4	無	無	8月11日	日本ハウジング㈱
18	南阿蘇村下野山田仮設団地	阿蘇郡南阿蘇村下野147番地64	14,863㎡ (12,150㎡)	6	37	25	68	無	有	9月30日	㈱エバーフィールド
20	御船町田代東部仮設団地	上益城郡御船町上野5191-3	2,180㎡ (2,180㎡)	4	6	3	13	無	無	8月25日	㈱ウエダホーム
21	御船町南木倉仮設団地	上益城郡御船町木倉2383-1	9,000㎡ (8,780㎡)	15	30	10	55	無	有	9月20日	㈱エバーフィールド
22	御船町滝川仮設団地	上益城郡御船町滝川1182ほか	3,283㎡ (3,283㎡)	5	11	5	21	有	無	9月13日	㈱ウエダホーム
23	御船町甘木仮設団地	上益城郡御船町高木1178ほか	1,795㎡ (1,250㎡)	2	6	0	8	無	無	8月31日	㈱朋和
24	御船町西木倉仮設団地	上益城郡御船町木倉1095-1	3,690㎡ (1,960㎡)	3	6	3	12	無	無	9月29日	黒田建築
26	御船町落合仮設団地	上益城郡御船町木倉317-1ほか	7,347㎡ (7,347㎡)	6	28	8	42	有	無	11月10日	㈱ウエダホーム
27	益城町福富仮設団地	上益城郡益城町福富861	1,164㎡ (1,164㎡)	0	6	0	6	無	無	11月12日	黒田建築
28	山都町原仮設団地	上益城郡山都町原302番地1ほか	3,311㎡ (1,050㎡)	0	4	2	6	無	無	6月25日	宮田建設㈱ ㈱尾上建設
29	氷川町野津仮設団地	八代郡氷川町野津1355番地	3,886㎡ (3,365㎡)	3	6	5	14	無	無	7月6日	黒田建築 朋和
30	氷川町鹿島仮設団地	八代郡氷川町鹿島1624番地1	4,320㎡ (2,917㎡)	0	9	5	14	無	無	7月5日	㈱塚建設 ㈱友建設
31	氷川町島地仮設団地	八代郡氷川町島地636番地1	1,695㎡ (1,695㎡)	3	6	2	11	無	無	8月23日	㈱塚建設
合計			—	113	318	132	563	—	—	—	—
(一社)熊本県優良住宅協会			敷地面積 (有効敷地面積)	住宅戸数				みんなの家(有無)		竣工日 (検査日)	施工工務店
※	団地名	建設地		6坪タイプ	9坪タイプ	12坪タイプ	合計	談話室	集会所		
19	西原村小森第1仮設団地	阿蘇郡西原村小森3157ほか	7,775㎡	16	26	8	50	無	有	1期:6月12日 2期:6月25日	20工務店
25	御船町東小坂仮設団地	上益城郡御船町小坂1747ほか	1,884㎡	0	7	3	10	無	無	8月31日	(株)ワイホーム
合計			—	16	33	11	60	—	—	—	—
(公社)日本建築士会連合会・(一社)木と住まい研究協会			敷地面積 (有効敷地面積)	住宅戸数				みんなの家(有無)		竣工日 (検査日)	施工工務店
※	団地名	建設地		6坪タイプ	9坪タイプ	12坪タイプ	合計	談話室	集会所		
3	宇城市当尾仮設団地 第一期工事	宇城市松橋町曲野1624-22	5,093㎡ (5,093㎡)	7	16	7	30	無	有	6月15日	(株)高橋建設
4	小川(宇城市南出村)仮設 団地 第一期工事	宇城市小川町南新田564-8	5,900㎡ (5,900㎡)	6	8	6	20	有	無	6月24日	(株)高橋建設
5	宇城市豊野仮設団地 第一期工事	宇城市豊野町糸石2966	11,364㎡ (1,624㎡)	2	6	2	10	無	無	6月14日	(株)高橋建設
合計			—	15	30	15	60	—	—	—	—
総計			—	144	381	158	683	—	—	—	—

※番号は次ページ「熊本地震 応急仮設住宅団地一覧」記載順

熊本地震 応急仮設住宅団地一覧

市町村	団地名	所在地	整備戸数		集会所等 整備の有無
			プレハブ	木造	
熊本市	塚原仮設住宅	熊本市南区城南町塚原81-3	96戸		○
	さんさん2丁目仮設住宅	熊本市南区城南町さんさん2丁目2-1	16戸		
	秋津中央公園仮設住宅	熊本市東区東野2丁目26	54戸		○
	平原仮設住宅	熊本市南区富合町平原67-1	27戸		○
	藤山仮設住宅	熊本市南区城南町藤山885-3	150戸		○
	南田尻仮設住宅	熊本市南区富合町南田尻220	28戸		○
	舞原仮設住宅	熊本市南区城南町舞原158-7	87戸		○
	東町仮設住宅	熊本市東区東町3丁目4	38戸		○
	藤山第2仮設住宅	熊本市南区城南町藤山885-3	45戸		○
	計		541戸		
宇土市	高柳仮設団地	宇土市高柳町201番地	42戸		○
	境目仮設団地	宇土市境目町483番地12	24戸		○
	新松原仮設団地	宇土市新松原町6番地1	18戸		
	浦田仮設団地	宇土市浦田町1番地	33戸		○
	境目第3仮設団地	宇土市境目町618番地1		12戸	
	境目第2仮設団地	宇土市境目町483番地1		14戸	
		計		117戸	26戸
宇城市	当尾仮設団地	宇城市松橋町曲野1624-22		74戸	○
	小川仮設団地	宇城市小川町南新田564-8		39戸	○
	豊野仮設団地	宇城市豊野町糸石2966		20戸	
	御領仮設団地	宇城市不知火町御領35		10戸	
	井尻仮設団地	宇城市小川町西北小川409		20戸	○
	曲野長谷川仮設団地	宇城市松橋町曲野3502		13戸	
		計		176戸	
美里町	中央庁舎仮設団地	美里町馬場1110		19戸	
	砥用庁舎仮設団地	美里町三和430		7戸	
	くすのき平仮設団地	美里町坂貫583		15戸	
		計		41戸	
大津町	室仮設団地	大津町大字室1928番地	33戸		○
	南出口仮設団地※2	大津町大字室1263番地	21戸		○
	町営グラウンド横仮設団地	大津町大字大津1943番地1	8戸		
	立石仮設団地	大津町大字大津1564番地4	8戸		
	室東仮設団地	大津町大字室2042番地5	14戸		
	引水仮設団地	大津町大字引水131番地1	7戸		
		計		91戸	
菊陽町	光の森仮設団地	菊陽町光の森3丁目2番地2	20戸		○
		計	20戸		
阿蘇市	内牧仮設団地	阿蘇市内牧267-3		19戸	
	三久保仮設団地	阿蘇市三久保524		26戸	○
	黒川仮設団地	阿蘇市黒川1176		26戸	○
	北塚仮設団地	阿蘇市黒川881-6		30戸	○
		計		101戸	
産山村	上山鹿仮設団地	産山村大字山鹿460番地		5戸	
	上止り山仮設団地	産山村大字大利607番地2		4戸	
		計		9戸	

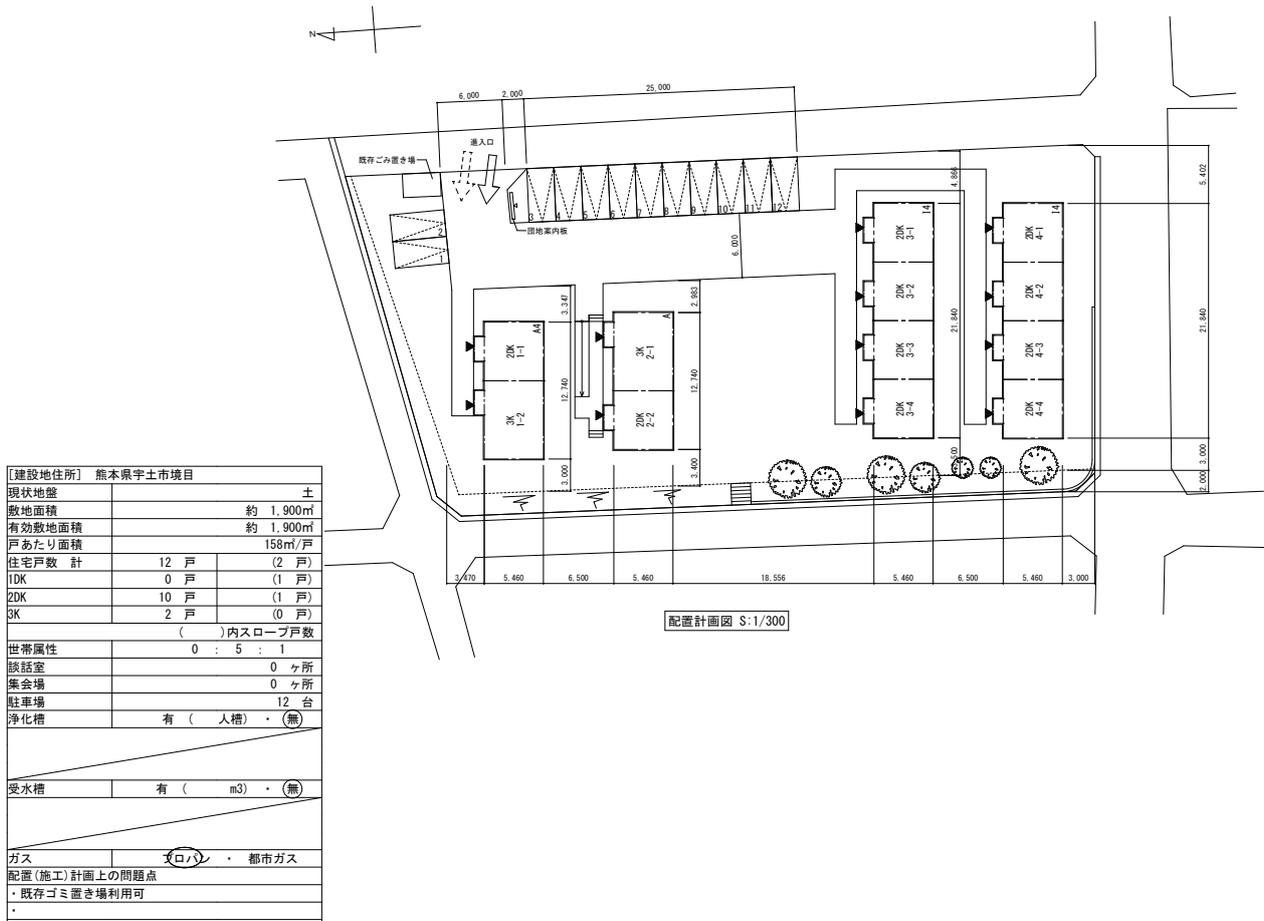
市町村	団地名	所在地	整備戸数		集会所等 整備の有無
			プレハブ	木造	
南阿蘇村	南阿蘇村長陽運動公園仮設団地	南阿蘇村大字河陽4320番地1	56戸		○
	岩坂仮設団地※1	大津町大字岩坂387番地1	43戸		○
	南出口仮設団地※1※2	大津町大字室1263番地	57戸		○
	南阿蘇村岸野仮設団地	南阿蘇村大字河陰3866番地1	7戸		
	南阿蘇村加勢ノ上仮設団地	南阿蘇村大字河陽1906番2	65戸		○
	南阿蘇村下野山田仮設団地	南阿蘇村大字下野147番地64		68戸	○
	南阿蘇村陽ノ丘仮設団地	南阿蘇村大字河陽4545番地	92戸		○
	室第二仮設団地※1	大津町大字室1902番地1	13戸		
	計	333戸	68戸		
西原村	小森第1仮設団地	西原村大字小森3157番1 他		50戸	○
	小森第2仮設団地	西原村大字小森3157番1 他	82戸		○
	小森第3仮設団地	西原村大字小森3157番1 他	87戸		○
	小森第4仮設団地	西原村大字小森3157番1 他	83戸		○
	小森第5仮設団地	西原村大字小森3157番1 他	10戸		
		計	262戸	50戸	
御船町	旧七滝中仮設団地	御船町大字上野1519-2	24戸		○
	木倉仮設団地	御船町大字木倉4781	15戸		
	高木仮設団地	御船町大字高木2797	22戸		○
	七滝仮設団地	御船町大字七滝2437番地1	14戸		
	田代東部仮設団地	御船町大字上野5191-3		13戸	
	小坂仮設団地	御船町大字豊秋2809 他	24戸		○
	玉虫仮設団地	御船町大字滝尾6228	16戸		
	ふれあい広場仮設団地	御船町大字辺田見100	22戸		○
	南木倉仮設団地	御船町大字木倉2383-1		55戸	○
	今城仮設団地	御船町大字滝川519-1 他	33戸		○
	陣仮設団地	御船町大字陣1999-1	12戸		
	滝川仮設団地	御船町大字滝川1182 他		21戸	○
	甘木仮設団地	御船町大字高木1178 他		8戸	
	西木倉仮設団地	御船町大字木倉1095-1 他		12戸	
	ふれあい広場第2仮設仮設団地	御船町大字木倉1308-1 他	20戸		○
	高木第2仮設団地	御船町大字高木4472-1 他	8戸		
	下高野仮設団地	御船町大字高木1652 他	11戸		
	東小坂仮設団地	御船町大字小坂1747 他		10戸	
	下高野第2仮設団地	御船町大字高木1807	22戸		○
	落合仮設団地	御船町大字木倉317-1 他		42戸	○
西往環仮設団地	御船町大字木倉99-1 他	21戸		○	
	計	264戸	161戸		
嘉島町	嘉島近隣公園仮設団地	嘉島町大字鯨2820	39戸		
	嘉島町児童公園仮設団地	嘉島町大字上六嘉1106	23戸		○
	金畑公園仮設団地	嘉島町大字上六嘉2399-1	26戸		
	宮ノ前公園仮設団地	嘉島町大字上島2718	15戸		
	下仲間公園仮設団地	嘉島町大字下仲間954-2	21戸		○
	北甘木公園仮設団地	嘉島町大字北甘木771	16戸		
	上川原公園仮設団地	嘉島町大字上仲間817-2	14戸		
	同尻公園仮設団地	嘉島町大字上島2085-2	8戸		

市町村	団地名	所在地	整備戸数		集会所等 整備の有無
			プレハブ	木造	
嘉島町	西原公園仮設団地	嘉島町大字下六嘉3278-1	14戸		
	上仲間仮設団地	嘉島町大字上仲間1863-1 他	20戸		○
	かいね公園仮設団地	嘉島町大字鯉1840	12戸		
	計		208戸		
益城町	津森仮設団地	益城町大字田原517番地3 他	73戸		○
	赤井仮設団地	益城町大字赤井1837番地 他	35戸		○
	広崎仮設団地	益城町大字広崎1160番地1 他	53戸		○
	テクノ仮設団地	益城町大字小谷2083番地7の一部	516戸		○
	安永仮設団地	益城町大字安永1213番地1 他	70戸		○
	飯野小仮設団地	益城町大字砥川90番地 他	48戸		○
	小池島田仮設団地	益城町大字小池1601番地 他	82戸		○
	木山仮設団地	益城町大字木山866番地1 他	220戸		○
	馬水仮設団地	益城町大字馬水402番地1 他	77戸		○
	馬水東道仮設団地	益城町大字馬水373番地 他	56戸		○
	平田仮設団地	益城町大字平田1128番地 他	48戸		○
	櫛島仮設団地	益城町大字島田929番地1 他	41戸		○
	馬水西原仮設団地	益城町大字馬水39番地 他	54戸		○
	安永東仮設団地	益城町大字安永1113番地1 他	43戸		○
	惣領仮設団地	益城町大字惣領1851番地 他	63戸		○
	東無田仮設団地	益城町大字小池1622番地	13戸		
木山上辻仮設団地	益城町大字木山字上辻740番地1 他	64戸		○	
福富仮設団地	益城町大字福富861番地		6戸		
計		1,556戸	6戸		
甲佐町	白旗仮設団地	甲佐町大字早川12100番地2	90戸		○
	乙女仮設団地	甲佐町大字田口383番地2	48戸		○
	乙女第二仮設団地	甲佐町大字田口1015番地1	26戸		○
	白旗第二仮設団地	甲佐町大字早川12100番地	19戸		
	乙女第三仮設団地	甲佐町大字田口4263番地	31戸		○
	白旗第三仮設団地	甲佐町大字糸田438番地1	14戸		
	計		228戸		
山都町	山都町原団地	山都町原302番地1 他		6戸	
	計			6戸	
氷川町	野津仮設団地	氷川町野津1355番地		14戸	
	鹿島仮設団地	氷川町鹿島1624番地1		14戸	
	島地仮設団地	氷川町島地636番地1		11戸	
	計			39戸	
16市町村	110団地	—	3,620戸	683戸	—
			4,303戸		

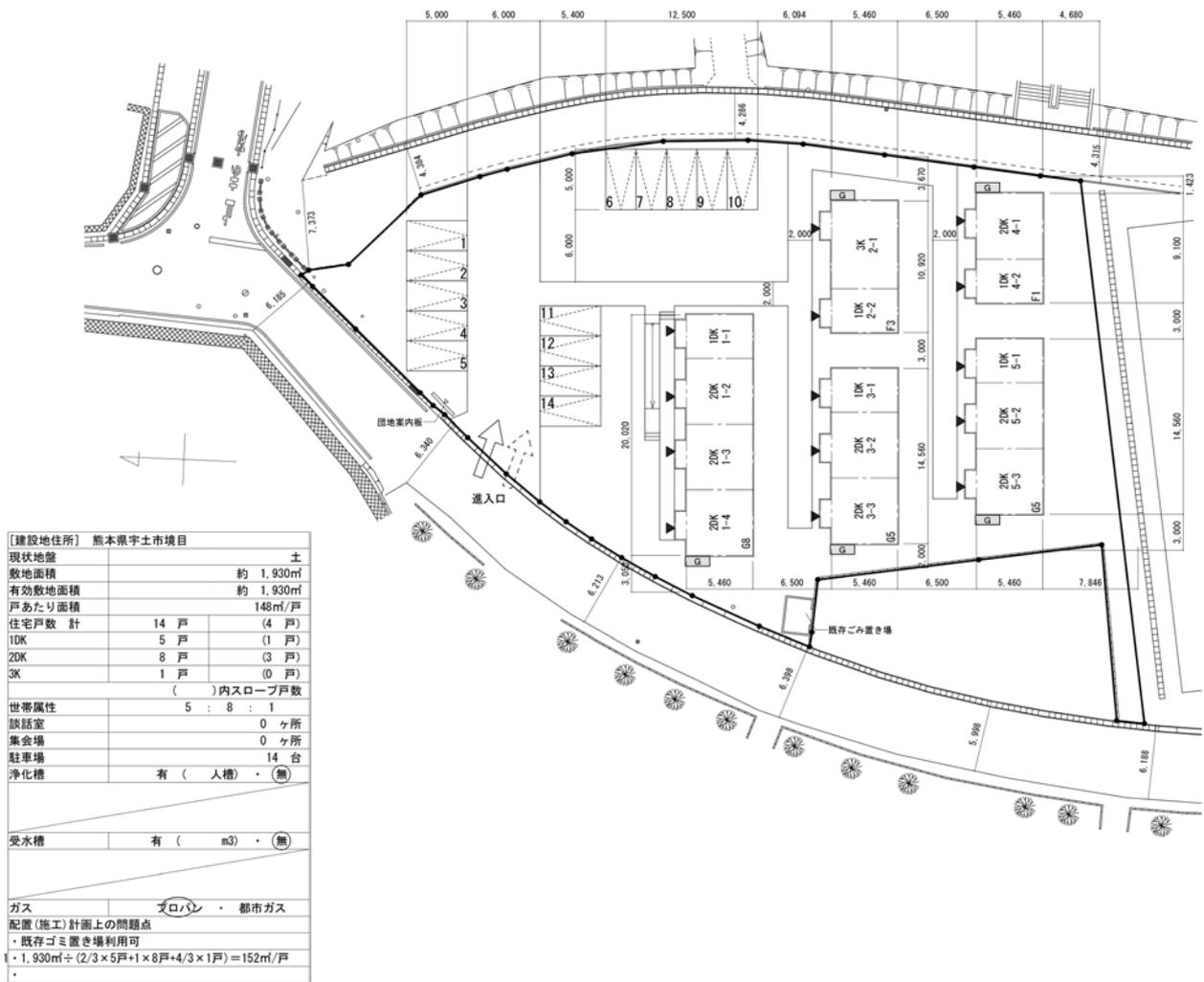
※1 応急仮設住宅の建設所在地は大津町

※2 室南出口団地については、大津町と南阿蘇村の被災者の方の団地となるため、それぞれの団地として計上

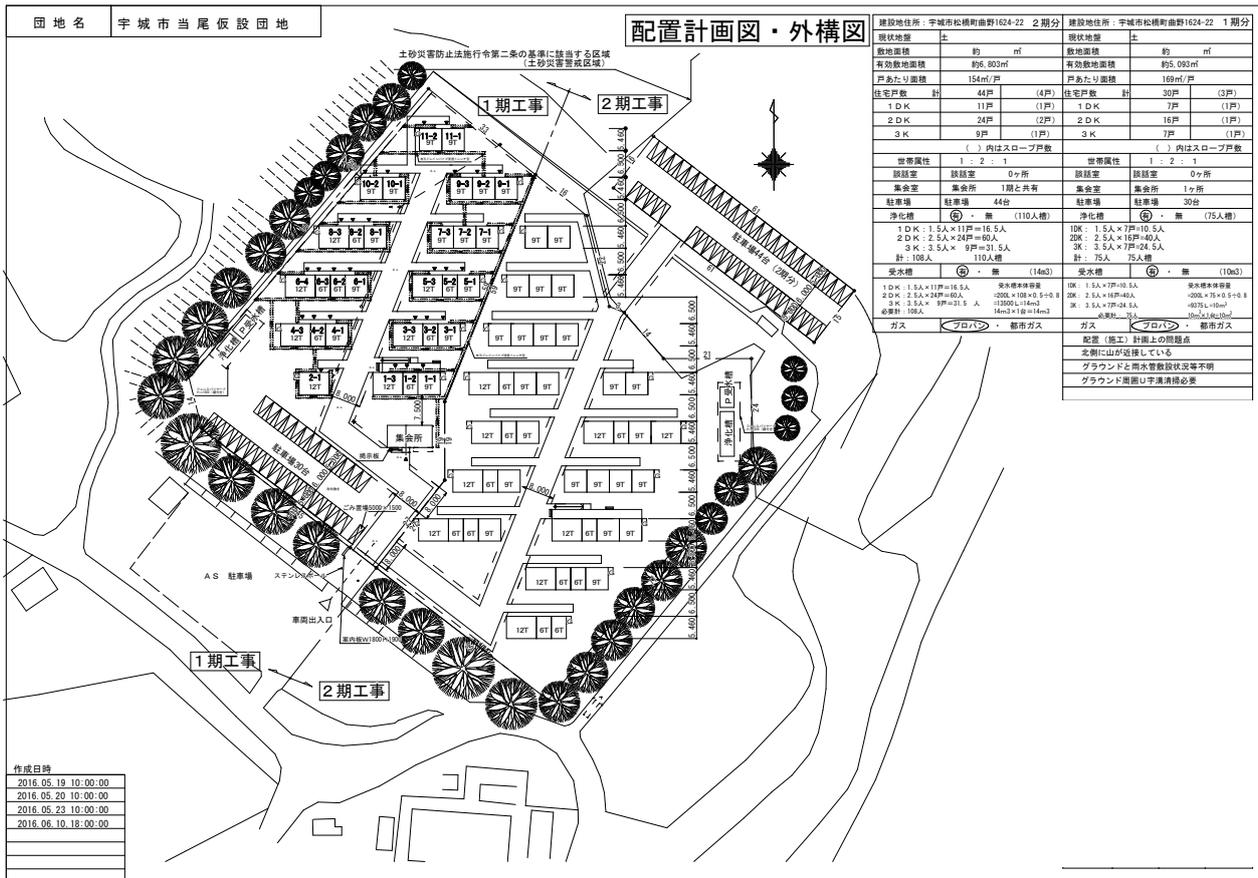
1. 宇土市境目第3仮設団地



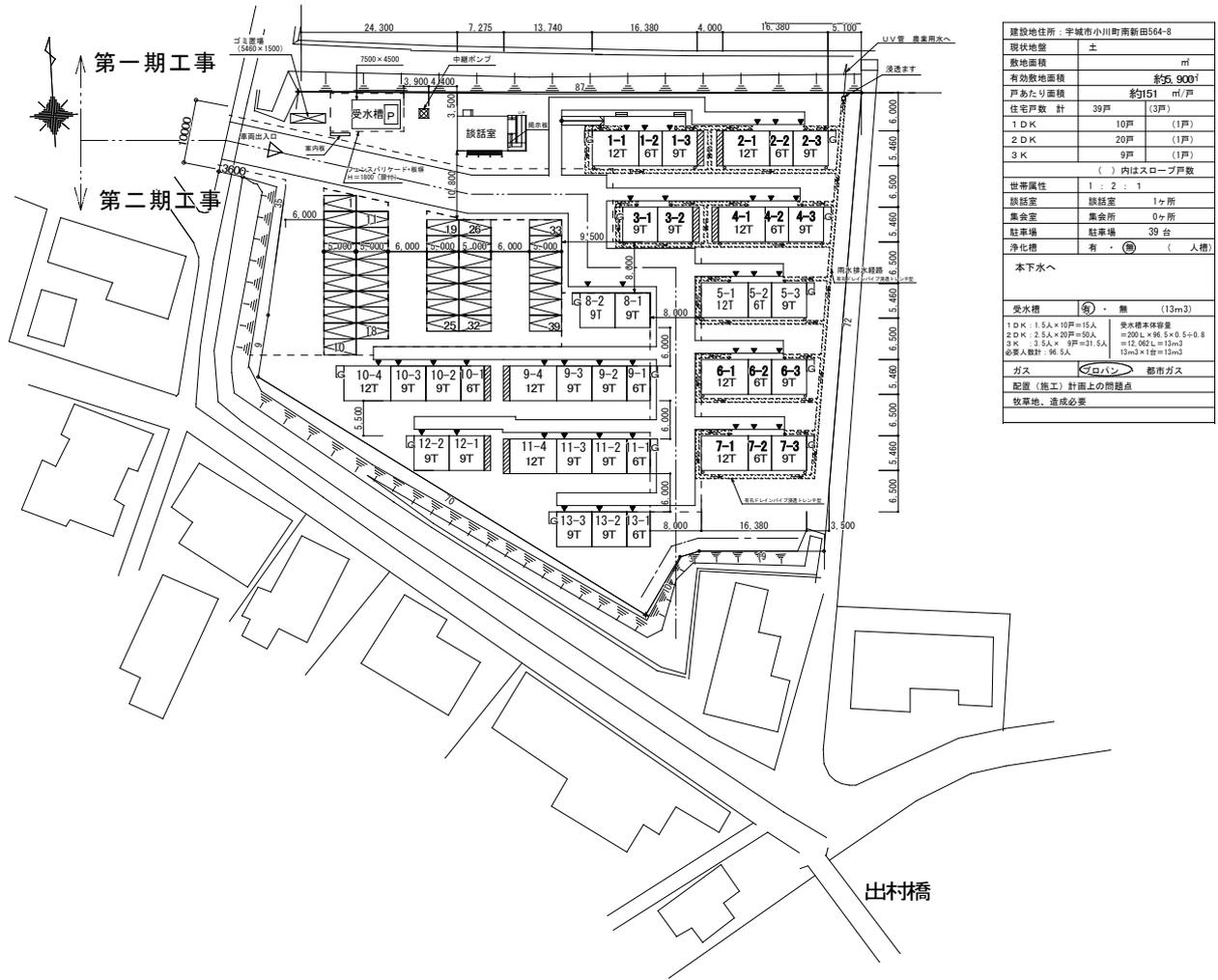
2. 宇土市境目第2仮設団地



3. 宇城市当尾仮設団地 第一期工事・第二期工事



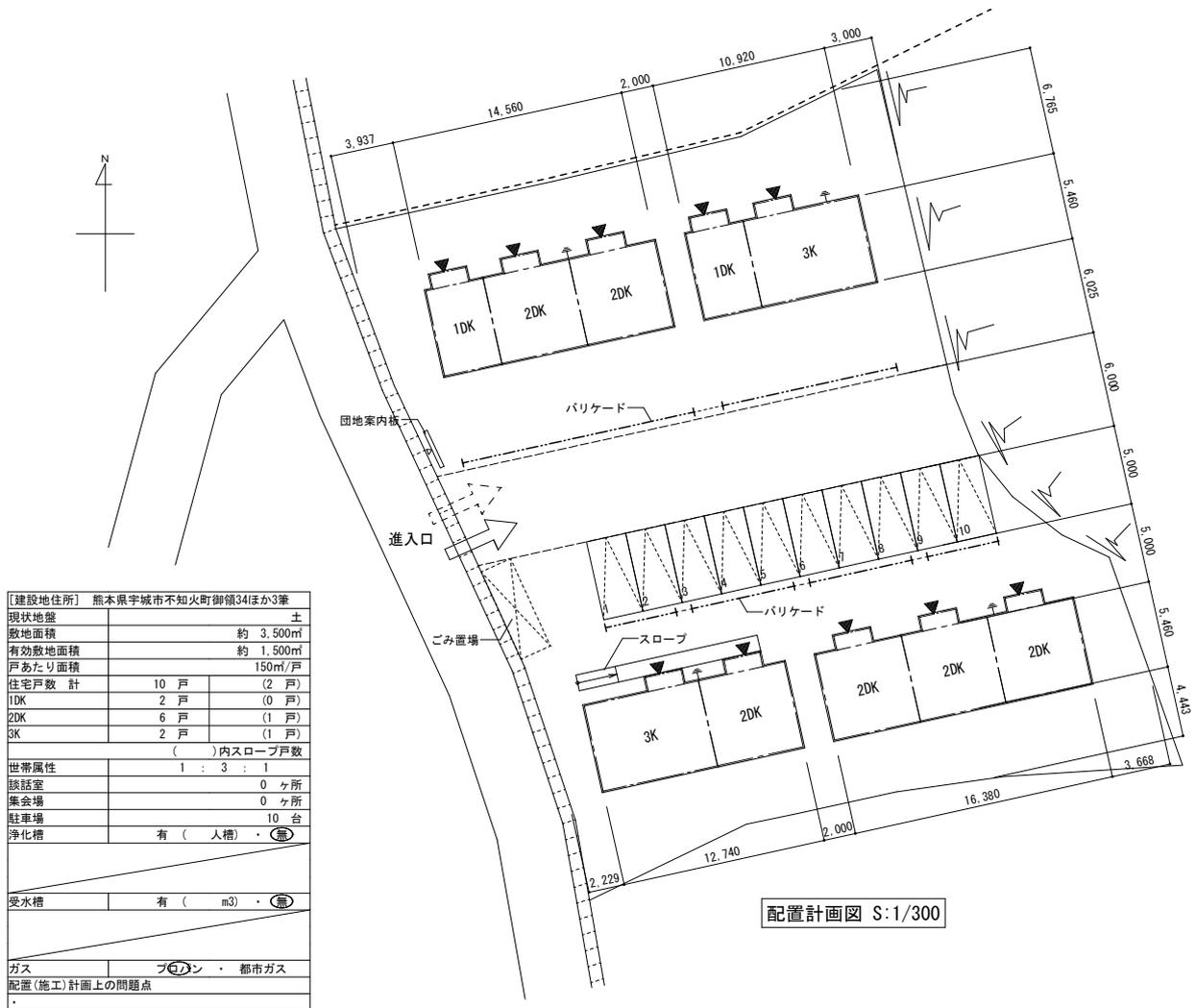
4. 小川 (宇城市南出村) 仮設団地 第一期工事・第二期工事



建設地住所：宇城市小川町南新田564-8	
現状地盤	土
敷地面積	㎡
有効敷地面積	約5,900㎡
戸あたり面積	約151 ㎡/戸
住宅戸数 計	39戸 (39戸)
1DK	10戸 (1戸)
2DK	20戸 (1戸)
3K	9戸 (1戸)
() 内はスロープ戸数	
世帯属性	1 : 2 : 1
談話室	1ヶ所
集会所	0ヶ所
駐車場	39台
浄化槽	有 (人槽)
本下水へ	
受水槽	有 (13m ³)
1DK : 1.5人×10戸=15人 受水槽本体容量 2DK : 2.5人×20戸=50人 =200L×96.5×0.5=9.8 3K : 3.5人×9戸=31.5人 =12,062L=12m ³ 必要人数計：96.5人 13m ³ ×1台=13m ³	
ガス	都市ガス
配置 (他工) 計画上の問題点	
牧草地、造成必要	



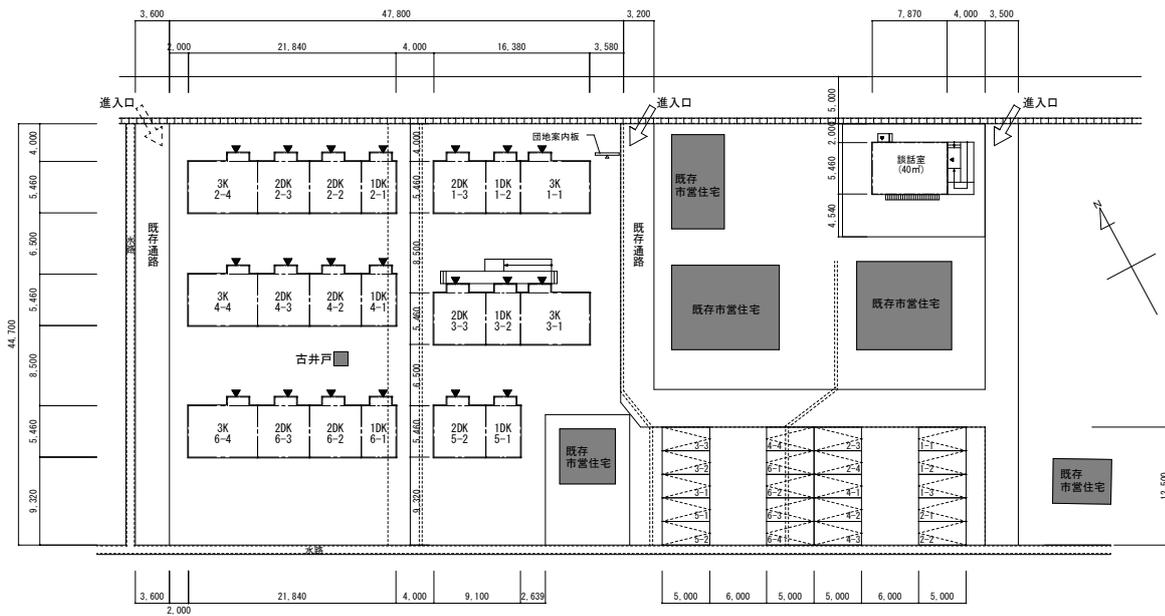
6. 宇城市御領仮設団地



[建設地住所] 熊本県宇城市不知火町御領34ほか3筆	
現状地盤	土
敷地面積	約 3,500㎡
有効敷地面積	約 1,500㎡
戸あたり面積	150㎡/戸
住宅戸数 計	10 戸 (2 戸)
1DK	2 戸 (0 戸)
2DK	6 戸 (1 戸)
3K	2 戸 (1 戸)
	() 内スロープ戸数
世帯属性	1 : 3 : 1
談話室	0 ヶ所
集会場	0 ヶ所
駐車場	10 台
浄化槽	有 (人槽) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
受水槽	有 (m3) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
ガス	ブロン ・ 都市ガス
配置(施工)計画上の問題点	
・	



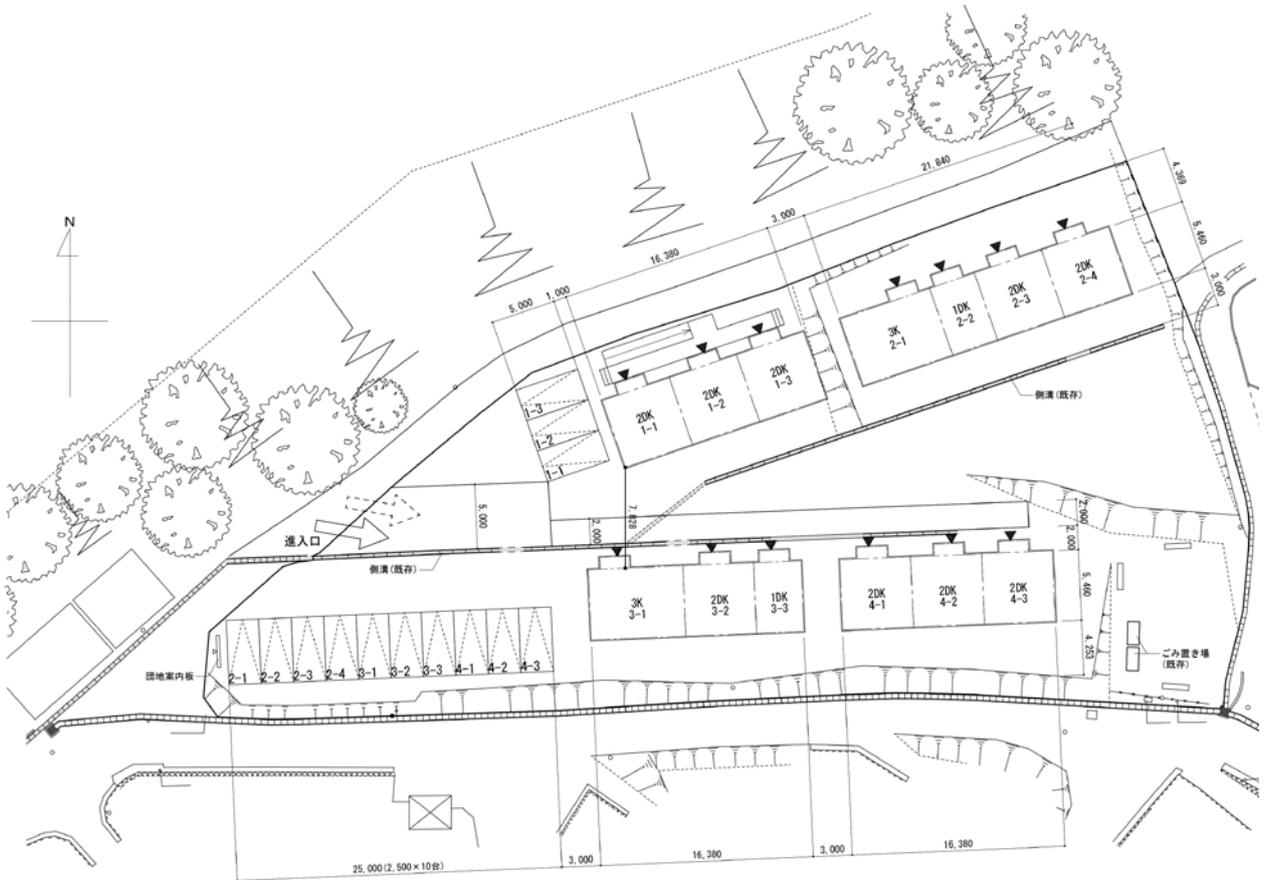
7. 宇城市井尻仮設団地



[建設地住所] 熊本県宇城市小川町	
現状地盤	砕石
敷地面積	約 3,229㎡
有効敷地面積	約 3,229㎡
戸あたり面積	161㎡/戸
住宅戸数 計	20 戸 (3 戸)
1DK	6 戸 (1 戸)
2DK	9 戸 (1 戸)
3K	5 戸 (1 戸)
()内スロープ戸数	
世帯属性	6 : 9 : 5
談話室	1 ヶ所
集会場	0 ヶ所
駐車場	20 台
浄化槽	有 (人槽) ・ (無)
受水槽	有 (m3) ・ (無)
ガス	プロパン ・ 都市ガス
配置(施工)計画上の問題点	.



8. 宇城市曲野長谷川仮設団地



[建設地住所] 熊本県宇城市松橋町	
現状地盤	土
敷地面積	約 2,216㎡
有効敷地面積	約 2,216㎡
戸あたり面積	170㎡/戸
住宅戸数 計	13 戸 (3 戸)
1DK	2 戸 (0 戸)
2DK	9 戸 (3 戸)
3K	2 戸 (0 戸)
	() 内スロープ戸数
世帯属性	1 : 4.5 : 1
談話室	0 ヶ所
集会場	0 ヶ所
駐車場	13 台
浄化槽	有 (人槽) ・ (無)
受水槽	有 (m3) ・ (無)
ガス	ガス(パイプ) ・ 都市ガス
配置(施工)計画上の問題点	.